

令和 4 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団決算書

(抜粋)

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

# 目 次

|               | ページ |
|---------------|-----|
| ・ 事業報告書 ..... | 1   |
| ・ 決算報告書 ..... | 45  |

# 事 業 報 告 書

# 目 次

|                            | ページ |
|----------------------------|-----|
| I 概 況                      |     |
| 1 総 括 事 項                  | 3   |
| II 業 務                     |     |
| 1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）   |     |
| (1) 埋蔵文化財発掘調査              | 4   |
| (2) 埋蔵文化財啓発活動              | 6   |
| (3) 埋蔵文化財発掘調査 市内遺跡分布図      | 7   |
| 2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）   |     |
| (1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家 | 8   |
| (2) いわき市暮らしの伝承郷            | 12  |
| (3) いわき市勿来関文学歴史館           | 18  |
| (4) いわき市アンモナイトセンター         | 23  |
| (5) いわき市考古資料館              | 26  |
| (6) 福島県いわき海浜自然の家           | 30  |
| (7) いわき市生涯学習プラザ            | 33  |
| 3 管 理 部 門（法人会計）            | 42  |
| III 評議員会・理事会に関する事項         |     |
| 1 評 議 員 会                  | 43  |
| 2 理 事 会                    | 43  |
| 3 監 査                      | 43  |
| 4 役員等に関する事項                | 43  |
| IV 職員に関する事項                |     |
| 1 事 務 局                    | 44  |
| 2 施 設                      | 44  |

# I 概 況

## 1 総括事項

令和4年度は、本事業団の設立から45年目、公益法人に移行後9年目にあたる。公益法人としての役割を認識し、専門性を十分に活かすとともに、新型コロナウイルス（以下、「新型コロナ」という。）感染症の感染拡大防止に関する県・市の対策を踏まえながら、職員一丸となって市・県民の心の支えとなるような事業を展開した。

理事会は7回、評議員会は2回開催し、財務に関しては収支相償に留意しながら、公正・公平で透明性のある組織運営に努めた。

文化財部門は、今年度もJRいわき駅周辺の再開発事業による平城跡内での発掘調査や試掘・確認調査が多く実施された。田町曲輪内の武家屋敷地調査では、掘立柱建物跡や井戸跡、導水施設、厠跡等の遺構のほか、陶磁器やかかわらけ、漆器等の遺物が数多く検出された。また、市道改良に伴う岡ノ内遺跡発掘調査では、縄文時代や古墳時代の遺物が出土した。事業量は、前年度から1件減の13件であったが、収入額は約2億2,680万円で、約7,140万円の増となった。

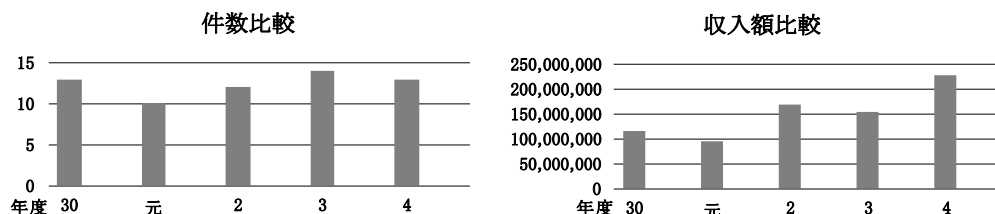
施設部門は、大部分の施設が5か年の指定管理期間の折り返しを迎え、新型コロナ感染症の感染拡大防止を図りながら、魅力ある企画展や体験学習等の事業を展開した。全施設の年間利用者は前年度比154.6%となった。

法人運営としては、コロナ禍の中、職員の健康管理に留意しながら、施設長会議や安全衛生委員会等の諸会議を引き続きオンラインにより実施するなど、感染防止対策を強化して施設の運営にあたった。

本年度の収入は全体で約7億860万円となり、経費の節減に努めた結果、約690万円の黒字決算となった。

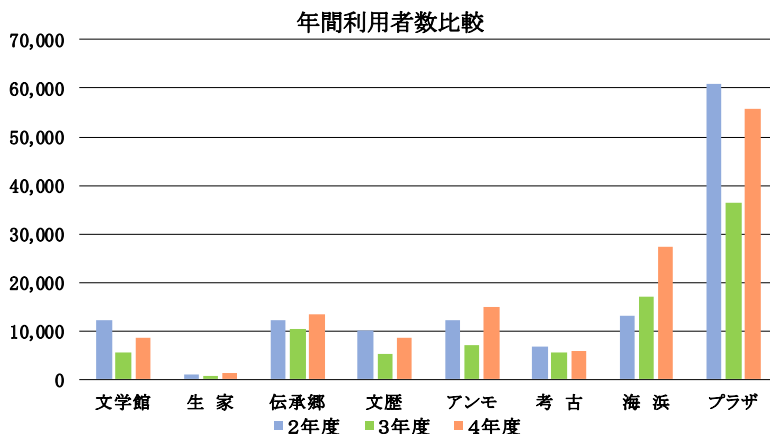
### ○ 発掘調査事業契約件数と収入額の年度別比較（平成30年度～令和4年度）

| 年度             | 30          | 元          | 2           | 3           | 4           |
|----------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 契約件数<br>(単位：件) | 13          | 10         | 12          | 14          | 13          |
| 収入額<br>(単位：円)  | 116,742,600 | 93,946,360 | 169,944,500 | 155,347,500 | 226,794,700 |



### ○ 施設年間利用者数比較（令和2年度～令和4年度）

|     | 文学館    | 生家    | 伝承郷    | 文歴     | アンモ    | 考古    | 海浜     | プラザ    | 合計      |
|-----|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|
| 2年度 | 12,084 | 915   | 12,202 | 10,005 | 12,242 | 6,881 | 13,137 | 60,768 | 128,234 |
| 3年度 | 5,461  | 607   | 10,420 | 5,227  | 7,053  | 5,394 | 17,062 | 36,406 | 87,630  |
| 4年度 | 8,487  | 1,177 | 13,500 | 8,586  | 14,777 | 5,903 | 27,404 | 55,668 | 135,502 |



## Ⅱ 業 務

### 1 文 化 財 部 門 (公 1 埋 蔵 文 化 財 の 発 掘 調 査 事 業)

令和4年度は13件の事業を受託した。内訳は、いわき市内が11件（発掘調査3件、市内試掘調査1件19箇所、整理作業7件）、市外が2件（整理作業1件：檜葉町、報告書作成・刊行1件：本宮市）となる。屋外での作業となる発掘調査では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じつつ、安全を第一に心掛けて作業にあたった。

発掘調査では、平城跡（平字並木の杜）において多大な成果を上げた。平城下絵図等において、田町曲輪とされる箇所の調査であり、武家屋敷地内の各種遺構が検出されたほか、地鎮の跡も確認されている。あわせて、陶磁器・かわらけ、漆器などの生活用具も多数出土している。さらに、下層からの中世段階の掘立柱建物跡や陶磁器類が出土したことは特筆される。

磐城平城塗師櫓石垣の調査では、崩落した石垣の石材カルテを作成したほか、櫓石垣の調査を実施し、北面での根石や南面での階段状遺構の存在、石垣内部の栗石の状況を確認した。

梅ノ作瓦窯跡群（小川町下小川）の範囲確認調査では、再検証を実施した結果、3基の窯跡の新旧関係が明確になった。いずれも、8世紀初頭頃の須恵器焼成窯跡と推定される。

今年度は、整理作業も多く実施し、市内外7遺跡の業務について、次年度以降の報告書刊行に向けて、各種作業した。

市内遺跡に関する試掘・確認調査は、19箇所を調査し、報告書作成作業までを実施した。報告書は、いわき市教育委員会が刊行した。

#### (1) 埋蔵文化財発掘調査 遺跡位置図は7頁のとおり

##### ア 発掘調査

##### (ア) 市内遺跡発掘調査業務委託

委託者 いわき市教育委員会（文化財課）

遺跡名 市内一円

受託期間 令和4年4月13日(水)～同5年3月17日(金)

契約額 9,757,000円

成果 個人住宅、宅地造成、公共事業等に先立ち、16遺跡19箇所の試掘・確認調査を実施した。

平城跡（位置図①）ではJRいわき駅周辺4箇所の調査が実施され、溝跡・ピット・盛土などが確認された。また、須賀蛭C遺跡（位置図②）では弥生時代後期の竪穴建物跡、関根遺跡（位置図③）では縄文時代晩期の土坑墓、北ノ作館跡（隣接）（位置図④）では縄文時代～平安時代の竪穴状遺構や土坑・ピットなどの遺構と遺物が確認された。北ノ作館跡（隣接）は、北作B遺跡として登録され、令和5年度から発掘調査が実施されることとなった。

##### (イ) いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託

委託者 いわき駅並木通り地区市街地再開発組合

遺跡名 平城跡（平字並木の杜 位置図⑤）

受託期間 令和4年4月28日(水)～同4年9月28日(水)を同5年2月15日(水)まで延長

契約額 79,982,100円 [当初 71,613,300円]

成果 第24次（商業棟）、第25次（住居棟）の2地点の調査を実施した。平城下田町曲輪内の武家屋敷地における柱穴群、井戸跡、溝跡、導水施設・厠跡等の遺構群が検出され、陶磁器類を主体とする遺物が多数出土した。さらに、下層でも中世段階の柱穴群や陶磁器類が検出された。

##### (ウ) 南白土関根2号線埋蔵文化財(岡ノ内遺跡)発掘調査業務委託

委託者 いわき市（土木課）

遺跡名 岡ノ内遺跡（平南白土字岡ノ内地内 位置図⑥）

受託期間 令和4年6月17日(金)～同4年12月16日(金)

契約額 3,505,700円

成果 昨年度に引き続き、縄文時代の遺物包含層の調査を実施した。縄文時代後期前半を主体とする土器や石器、土製品が多量に出土した。また、古墳時代前期の壺形土器を伴う土坑が検出された。

##### (エ) 都市計画道路搔槌小路幕ノ内線（柳町工区）埋蔵文化財（平城跡）発掘調査業務委託

委託者 いわき市（土木課）

遺跡名 平城跡（平字柳町地内 位置図①）

受託期間 令和4年7月7日(水)～同4年11月30日(水)を同5年2月28日(火)まで延長

契約額 50,252,400円 [当初 38,599,000円]

成果 対象範囲内においてボーリング調査を実施することで、土層堆積状態から外堀の面的な範囲や底面深度を推定した。

イ 整理、報告書作成・刊行

(ア) (仮称) 磐城平城・城跡公園埋蔵文化財調査業務委託

委託者 いわき市(公園緑地課)

遺跡名 平城跡、旧城跡遺跡(平字旧城跡地内 位置図①)

受託期間 令和4年5月19日(木)～同5年3月27日(月)

契約額 28,523,000円

成果 令和2年度に調査された平城本丸跡の整理作業を実施した。礎石建物跡、石組遺構、掘立柱建物跡、井戸跡、厠跡、祭祀遺構、溝跡、ピット、堀跡、焼成面などの遺構が検出され、かわらけ、陶磁器、瓦、石器・石製品、金属製品、銭貨、漆器、木製品などの遺物が出土している。

(イ) 埋蔵文化財発掘出土品整理業務委託

委託者 いわき市教育委員会(文化財課)

遺跡名 平城跡(田町地区 位置図⑤)

受託期間 令和4年9月1日(木)～同5年3月24日(金)

契約額 3,998,500円

成果 令和3年度に調査された平城跡田町地区(第19次)の整理作業を実施した。内堀跡と田町曲輪の調査で、陶磁器類が多量に出土している。さらに、明治時代の石垣も検出された。

(ウ) 市内遺跡発掘調査(報告書作成)業務委託

委託者 いわき市教育委員会(文化財課)

遺跡名 応時遺跡(勿来町大高応時地内 位置図⑦)

受託期間 令和4年9月5日(月)～同5年3月17日(金)

契約額 6,510,900円

成果 平成29年度に調査された応時遺跡の整理作業を実施した。古墳時代後期を主体とする竪穴建物跡が検出されている。

(エ) 餓鬼堂地区埋蔵文化財調査委託

委託者 いわき市(林務課)

遺跡名 餓鬼堂横穴群(平薄磯字北ノ作地内 位置図⑧)

受託期間 令和4年10月20日(木)～同5年2月28日(火)

契約額 3,498,000円

成果 平成24年度に調査された第30号横穴から第39号横穴の整理作業を実施した。一部の横穴からは、埋葬施設の木棺や多種多様の副葬品が出土している。

(オ) 梅ノ作瓦窯跡群範囲確認調査業務委託

委託者 いわき市教育委員会(文化財課)

遺跡名 梅ノ作瓦窯跡群(小川町下小川字梅ノ作地内 位置図⑨)

受託期間 令和4年11月1日(火)～同5年3月17日(金)

契約額 5,010,500円

成果 範囲確認を目的に調査された須恵器焼成窯跡の整理作業を実施した。また、現地での再検証を行い、3基の窯跡の新旧関係を明確にした。高台付杯、蓋、円面硯等が確認され、8世紀初頭頃の窯跡と推定されている。

(カ) 磐城平城跡塗師櫓石垣 石材カルテ作成及び石垣確認調査業務委託

委託者 いわき市教育委員会(文化財課)

遺跡名 平城跡(平字旧城跡地内 位置図①)

受託期間 令和4年11月25日(金)～同5年3月31日(金)

契約額 15,257,000円

成果 平成23年の東日本大震災により崩落した磐城平城塗師櫓石垣の調査を実施した。震災後に搬出した石垣石材のカルテを作成した。また、櫓石垣の基礎部分の検出と櫓内部の状況を確認する目的でトレンチ調査を実施した。石垣北面において根石部分が確認されたほか、南面中央付近から階段状遺構が検出された。さらに、石垣内部においては地形造成後に主に栗石を詰めて造成されたことが確認された。

(キ) 高久保育園埋蔵文化財発掘調査業務委託(整理等作業)

委託者 いわき市(こどもみらい課)

遺跡名 地藏院前遺跡(平下高久字清水地内 位置図⑩)

受託期間 令和4年12月27日(火)～同5年3月31日(金)

契約額 6,276,600円

成果 令和3年度に調査された地藏院前遺跡の整理作業を実施した。7世紀代から9世紀代の竪穴建物跡や井戸跡などが検出され、焼失家屋も確認されている。土師器・須恵器が主体となり、墨書土器も確認されている。さらに、近世墓が検出されている。

(ク) 第21-41310-0271号 埋蔵文化財発掘調査業務委託(合併支援) 本宮市高木地内(大学館跡)

委託者 福島県北建設事務所

遺跡名 大学館跡(本宮市高木字大学地内)

受託期間 令和3年9月28日(火)～同4年5月31日(火)

契約額 令和4年度分は5,965,300円

成果 令和2年度から同3年度に調査された本宮市大学館跡の報告書を刊行した。中世の館跡である大学館跡は、丘陵上に数条の堀跡が検出され、陶磁器類も出土している。

(ケ) 第403号 町道馬場前線道路改築工事に伴う埋蔵文化財本発掘調査業務委託

委託者 檜葉町

遺跡名 馬場前遺跡（檜葉町大字上小埜字馬場前地内）

受託期間 令和4年6月13日(月)～同5年3月15日(水)

契約額 9,979,200円

成果 令和2年度に調査された檜葉町馬場前遺跡の整理作業を実施した。縄文時代中期及び平安時代の堅穴住居跡や土坑が検出されている。縄文土器、土師器が多量に出土し、とくに筒形土器が土坑内から多数確認されている。

(2) 埋蔵文化財啓発活動

ア いわき市考古資料館 第1回企画展「令和3年度発掘速報展」

同館と共催で開催した。内容は30頁に記載のとおり。

イ 平城跡発掘調査報告会（会場 いわき市生涯学習プラザ）

日時 2月25日(土)15時～16時、同26日(日)13時～14時・15時～16時

聴講者 計71人

内容 いわき駅並木通り地区市街地再開発に伴う発掘調査成果を報告した。会場には陶磁器やかかわらけ、瓦、銭貨等の出土品約100点を展示した。また、あわせて「文化財ニュースいわき第83号」を発行し、来場者へ配布した。



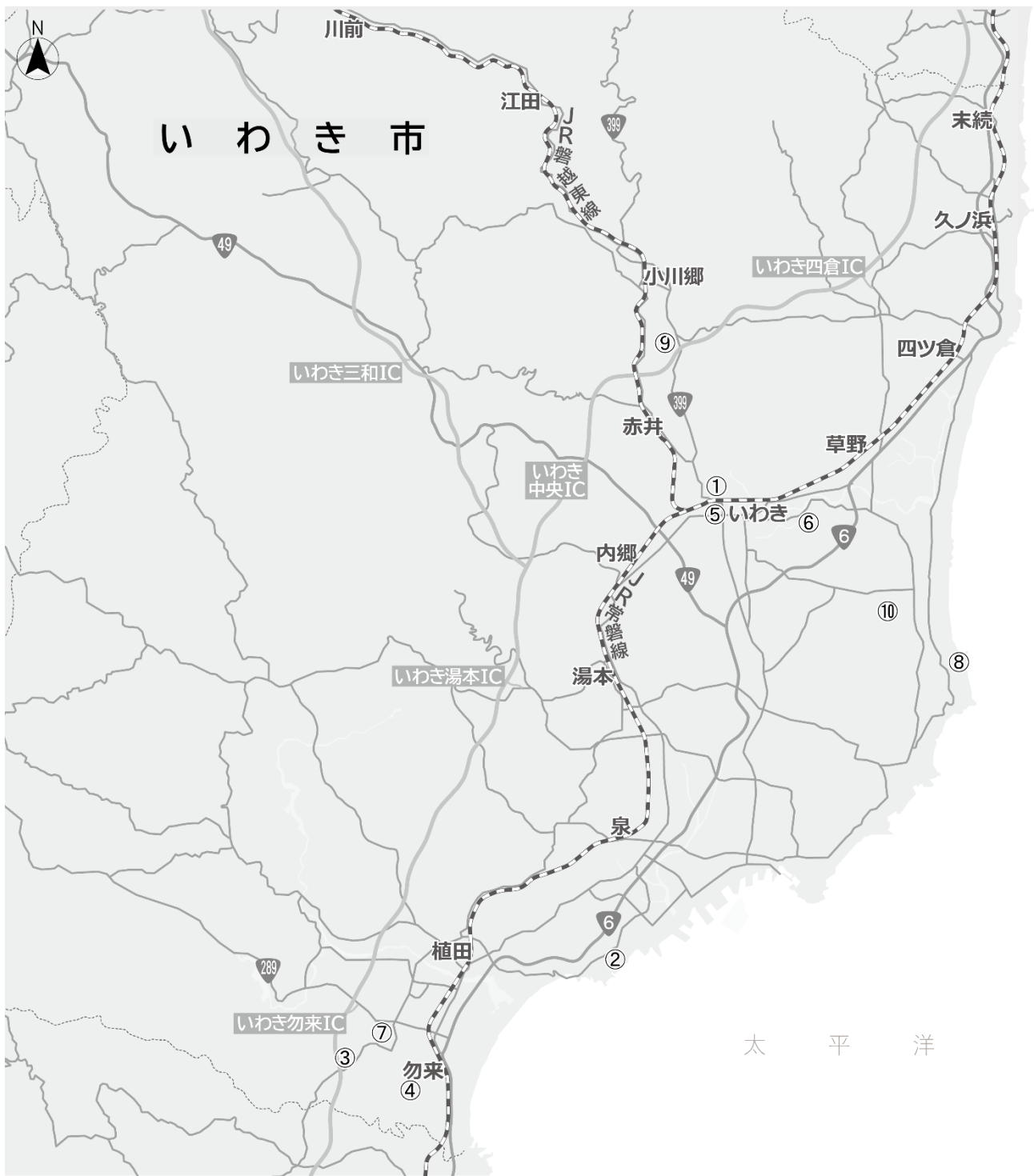
(3) 埋蔵文化財発掘調査 市内遺跡位置図

ア 主な発掘調査業務（試掘・確認調査含む）

- ① 平城跡（平字六間門、柳町）
- ④ 北ノ作館跡（隣接）（勿来町関田北作）
- ⑤ 平城跡（平字並木の杜、田町）
- ⑥ 岡ノ内遺跡（平南白土字岡ノ内）

イ 整理、報告書作成・刊行業務

- ② 須賀蛭C遺跡（泉町下川字須賀蛭）
- ③ 関根遺跡（勿来町酒井関根）
- ⑦ 応時遺跡（勿来町大高応時）
- ⑧ 餓鬼堂横穴群（平薄磯字北ノ作）
- ⑨ 梅ノ作瓦窯跡群（小川町下小川字梅ノ作）
- ⑩ 地藏院前遺跡（平下高久字清水）



## 2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

### (1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家

文学館 いわき市小川町高萩字下夕道1番地の39 平成10年7月19日開館  
生家 いわき市小川町上小川字植ノ内6番地の1 平成15年4月10日開館  
委託者及び指定管理期間 いわき市 平成31年4月1日～令和6年3月31日

いわき市立草野心平記念文学館の年間入館者は8,487名、昨年度比3,026名の増、年間開館日数は309日間であった。

いわき市草野心平生家の年間入館者は1,177名、昨年度比570名の増、年間開館日数は309日であった。通常の開館時はボランティアの会員が心平と故郷のかかわりを解説しつつ、親しみやすく来館者に接している。

文学館、心平生家ともに、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナという）感染防止対策を定めた「感染防止いわきスタイル宣言」に基づき、催事の大半を事前申し込みとし、平時の半数以下の定員として、感染拡大防止に留意し、利用者へ可能な限り配慮しながら事業や施設の管理運営を実施した。また、同宣言ポスターを館内に掲示し、利用者へ周知を図った。

#### ア 企画展

令和4年度は、春、夏、秋と3回の企画展を開催した。

春の企画展「草野心平の命名 名前・名前・名前」は、草野心平が命名した事物を取り上げ、関連資料と心平の言葉で、命名の達人でもあった詩人の魅力を紹介した。夏の企画展「ふつうがえらい！ エッセイスト 佐野洋子展」は、絵本作家であり、優れたエッセイストでもあった佐野洋子のことばを軸に、自筆原稿や東見本、挿絵原画などを展示し、エッセイスト佐野洋子の魅力を紹介した。秋の企画展「萩原朔太郎大全2022 一詩の岬」は、萩原朔太郎の没後80周年を記念する共同企画展「萩原朔太郎大全2022」に参加し、全国の文学館等と連携しながら、山村暮鳥が居住した大正初期のいわき地域が、詩壇の最先端だったことを紹介した。

スポット展示は、「猪狩満直」・「草野心平の料理」・「吉野せい」・「草野天平」を開催し、心平の創作活動の一面やいわきゆかりの文学者、資料、交友を紹介した。

#### (ア) 春の企画展「草野心平の命名 名前・名前・名前」

会期 4月23日(土)～6月26日(日)

観覧者 1,158人

内容 草野心平が命名した事物を取り上げ、関連資料と心平の言葉で、命名の達人でもあった詩人の魅力を紹介した。

関連事業

##### a ギャラリートーク

日時 5月14日(土)、6月4日(土)いずれも14時～14時30分

聴講者 計22人

#### (イ) 夏の企画展「ふつうがえらい！ エッセイスト 佐野洋子展」

会期 7月16日(土)～9月19日(月・祝)

観覧者 2,963人

内容 絵本『100万回生きたねこ』で知られる佐野洋子の自筆原稿や東見本、挿絵原画などを展示し、すぐれたエッセイストでもあった佐野のことばを軸に、人物像やエピソード、絵の仕事などから、その魅力を紹介した。

関連事業

##### a トークイベント「佐野洋子のおきばなし」

日時 7月31日(日)14時～15時30分

聴講者 75人

内容 佐野洋子とのエピソードや、一緒に制作した書籍のことなどについて、刈谷政則氏（編集者）、広瀬弦氏（イラストレーター、佐野洋子長男）が対談した。

##### b ギャラリートーク

日時 8月6日(土)、9月3日(土)いずれも14時～14時30分

聴講者 計22人

#### (ウ) 秋の企画展「萩原朔太郎大全2022 一詩の岬」

会期 10月8日(土)～12月18日(日)

観覧者 1,995人

内容 萩原朔太郎の没後80周年を記念する共同企画展「萩原朔太郎大全2022」に参加し、全国の文学館等と連携しながら、山村暮鳥が居住した大正初期のいわき地域が、詩壇の最先端だったことを紹介した。

## 関連事業

### a 記念講演会「私が出逢った詩人たち ―草野心平さんの思い出―

日 時 11月13日(日)14時～15時30分

聴講者 45人

内 容 草野心平とのエピソードや、心平をとりまく人々との思い出について、萩原朔美氏（萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館館長）が講演した。

### b ギャラリートーク

日 時 11月19日(土)、12月10日(土)いずれも14時～14時30分

聴講者 計10人

### (エ) スポット展示「猪狩満直」

会 期 4月9日(土)～6月26日(日)

内 容 いわき市好間町川中子出身の詩人猪狩満直（1898～1938）が川中子の生家で過ごした時期にまとめた詩集や作品掲載誌、自筆原稿などを紹介し、併せて市指定有形文化財である生家（旧猪狩家住宅）についても紹介した。

### (オ) スポット展示「草野心平の料理」

会 期 7月2日(土)～9月25日(日)

内 容 屋台の焼鳥屋「いわき」、居酒屋「火の車」などで、店主として考案、調理した料理を客に提供した草野心平の創作料理の数々を紹介し、日記や自筆原稿、料理雑誌、愛用の食器を展示した。

### (カ) スポット展示「吉野せい」

会 期 10月1日(土)～12月25日(日)

内 容 いわき市小名浜出身で好間町の通称菊竹山で暮らした作家吉野せい（1899～1977）の「北風の通信」自筆原稿と、執筆を勧める草野心平の書簡、「暮鳥と混沌」自筆草稿などを展示し、最初の単行本『暮鳥と混沌』刊行の経緯を紹介した。

### (キ) スポット展示「草野天平」

会 期 1月2日(月・休)～3月26日(日)

内 容 いわきゆかりの詩人草野天平の生涯と作品を、生前刊行した唯一の詩集『ひとつの道』の刊行に注目して紹介した。

## イ 普及事業（講演会・文学散歩）

文芸講演会「文学とわたし ―いわき時代から京都まで」は、いわき市ゆかりの小説家松村栄子氏を講師に迎え、5歳から18歳までを過ごしたいわき時代から京都に暮らす現在までの松村氏と文学についての講演会で、文学への興味関心を高める機会を提供した。文学散歩「磐城七浜の文学」は、塩屋埼灯台、薄磯海岸、いわき震災伝承みらい館を徒歩でめぐりながら、磐城七浜を記した文学者の作品について知る機会を提供した。ガリ版ワークショップでは、心平がガリ版で詩集を作ったことにちなみ、かつての印刷機材、技術にふれる機会とした。また、参加者作品紹介は、ガリ版で印刷した年賀状など、ワークショップの作品で年始の来館者を迎えるとともに、当館の多彩な事業内容の一端を紹介する機会とした。

宮西達也ワークショップでは、次年度夏の企画展のイベントとして、国内外で活躍している宮西達也氏を講師に迎えてフタバスズキリュウを工作用紙で作り、子ども達に創作の楽しさを体験する機会を提供し、次年度夏の企画展周知を図った。

### (ア) 文学散歩「磐城七浜の文学」

日 時 6月5日(日)10時～12時

参加者 15人

内 容 塩屋埼灯台、薄磯海岸、いわき震災伝承みらい館を徒歩でめぐりながら、草野心平や山村暮鳥、中里介山、椎名誠など、磐城七浜を記した文学者の作品を紹介した。

### (イ) ガリ版ワークショップ

日 時 12月3日(土)13時30分～15時

参加者 15人

内 容 心平が謄写版印刷機（ガリ版）で詩集を作ったことにちなみ、オリジナルのカードを作り、かつての印刷機材、技術にふれる機会とした。

### (ウ) 「ガリ版ワークショップ」参加者作品紹介

会 期 1月2日(月・休)～1月9日(月・祝)

内 容 12月に実施したガリ版ワークショップの作品を紹介し、年賀状等で年始の来館者を迎えた。

### (エ) 文芸講演会「文学とわたし ―いわき時代から京都まで」

日 時 2月5日(日)14時～15時30分

聴講者 68人

内 容 小説家の松村栄子氏を講師に迎え、5歳から18歳までを過ごしたいわき時代から京都に暮らす現在までの松村氏と文学についての講演会を実施した。

(オ) 宮西達也ワークショップ「フタバスズキリュウをつくろう！」

日 時 3月25日(土)、26日(日)いずれも14時～15時30分

参加者 計83人

内 容 絵本作家である宮西達也氏を講師に迎え、いわき市で発見された海竜にちなみ、工作用紙でフタバスズキリュウを作った。

ウ 演奏会など

夜間開館時や週末を中心に演奏会などを開催し、文学や芸術にふれる場を提供した。サマーナイトの催しは、午後8時まで開館する7月・8月の土曜日の夕刻から、アトリウムロビーにて演奏会を開催し、多彩な芸術活動にふれる機会を提供した。クリスマスえほんコンサートは、絵本を読み聞かせるおはなし会を開催し、子どもたちが絵本などに接することで、物語の楽しさに親しむきっかけになることを目指した。

(ア) いわき濤笛会山口流篠笛コンサート「竹の遠音 小川の里に響く篠の音」

日 時 5月5日(木・祝)10時～11時 鑑賞者 30人

(イ) サマーナイトの催し

a コンサート「夕間暮れ」

日 時 7月2日(土)18時～19時 鑑賞者 46人

b 朗読会「『100万回生きたねこ』 佐野洋子・みごとな生きざま」

日 時 7月23日(土)17時～18時30分 鑑賞者 46人

c コンサート「デュオジャズナイト」

日 時 7月30日(土)18時～19時 鑑賞者 49人

d コンサート「バロックと日本の子守唄 ～バッハとヘンデル～」

日 時 8月6日(土)18時～19時 鑑賞者 47人

(ウ) クリスマスえほんコンサート

日 時 12月18日(日)11時～12時、14時～15時 鑑賞者 計97人

内 容 絵本の読み聞かせと演奏会にあわせ、文学館ボランティアの会会員が扮するサンタクロースがお菓子をプレゼントするなど、親子連れが多数参加し、楽しんだ。

エ 市内文化施設、地域住民との連携

移動水族館は、親子連れや子どもたちが気軽に水辺の生き物にふれることができる機会とした。また、文学館周辺の団体と連携することによって、地域の活性化を図る機会とした。

(ア) アトリウムコンサート

日 時 8月7日(日)11時～11時40分、13時30分～14時10分 鑑賞者 計97人

内 容 いわき市立小川中学校吹奏楽部によるコンサートを開催した。

(イ) 移動水族館（協力 アクアマリンふくしま）

日 時 8月28日(日)10時～15時 参加者 91人

内 容 親子連れや子どもたちが海辺の生き物に親しんだ。開催に合わせ、ゆうゆうファームと小川の郷かあちゃんのじまん市が小川町の農産物を販売した。

(ウ) おでかけアリオス NUU「つつん つるんぶ つるんぶ つるん 詩とうたのコンサート」（主催 いわき芸術文化交流館アリオス）

日 時 9月19日(月・祝)14時～15時 鑑賞者 33人

内 容 NUU氏、シーナアキコ氏、良原リエ氏によるコンサートを開催した。

(エ) 第45回吉野せい賞表彰式・記念講演会（主催 吉野せい賞運営委員会）

日 時 11月5日(土)13時～15時15分 聴講者 55人

内 容 記念講演会では、小説家、仙台文学館館長の佐伯一麦氏が、「厄災と文学」について講演した。

(オ) 令和5年いわき市小川地区成人式（主催 いわき市成人式実行委員会）

日 時 1月8日(日)11時30分～12時30分 参加者 55人

内 容 いわき市小川地区の成人式を小講堂で実施した。

オ 文学館ボランティアの会事業

朗読サロンは、朗読に気軽に接し、かつ楽しく学べる講座を通して、文学や表現の魅力にふれる機会とした。文学館ボランティアの会会員が講師を務め、市民ボランティアの活用にもつながっている。文学散歩は、文学館内に設置された問題を解きながら、草野心平への理解を深める機会を提供した。

(ア) 朗読サロン

日 時 4月9日(土)、5月14日(土)、6月4日(土)、7月2日(土)、8月6日(土)、9月3日(土)、10月1日(土)、11月19日(土)、12月10日(土)、1月14日(土)、2月4日(土)、3月4日(土)いずれも11時～12時

受講者 計74人

(イ) 文学散歩「草野心平記念文学館で宝探し」

日時 11月26日(土)10時～16時

参加者 13人

内容 館内に設置された問題を解きながら、文学館を見学することにより、参加者は草野心平への理解を深めることができた。

(ウ) 居酒屋「火の車」一日開店

日時 3月12日(日)11時～12時

参加者 27人

内容 居酒屋「火の車」時代の随筆『酒味酒菜』収載の酒や肴に関する作品を朗読し、心平が愛好した京都の漬物のお土産を提供した。

カ 出前講座・展示

要請を受け、いわきの文学に関する講義及び出前展示を実施し、市内の文学者について理解を深める機会を提供した。

10月30日(日) 「秋祭りinおがわ2022」出前展示(会場 いわき市立小川公民館)

1月26日(木) いわき市立小川公民館「市民講座 小川倶楽部 草野心平のふるさと小川町」9人

キ 連携事業

当財団管理施設と連携し、カエルにちなんだワークショップや、草野心平のカエルの詩、心平の肖像、当館紹介写真パネルの展示等を実施した。

10月23日(日) いわき海浜自然の家「秋のオープンデー カエルの折り紙」33人

2月25日(土)～同26日(日) いわき市生涯学習プラザ「第18回生涯学習フェスティバル」出前展示

ク 草野心平生家の催し

カエルのクラフトワークショップは、地域住民や親子連れの参加者が見られ、郷土の詩人に思いを寄せ、市民交流の場を提供する機会とした。没後35回忌「心平忌」・第28回「心平を語る会」、「草野天平の集い」は、草野心平生家ボランティアの会と連携しながら、郷土の詩人を偲ぶひと時を参加者と共有した。

(ア) 展示「ぐぜりあいのうたい」(主催 白鳥実行委員会)

会期 4月2日(土)～4月17日(日) 観覧者 231人

内容 いわき市小川町出身で、現在ヨーロッパを中心に活動している齋藤雅美氏が制作した美術作品を紹介した。

(イ) 心平誕生月の記念朗読会

日時 5月13日(金)14時～15時 参加者 35人

内容 草野心平の誕生日(5月12日)にちなみ、市民が心平詩篇を朗読した。心平が学び、校歌を作詞したいわき市立小川小学校4年生も参加し、郷土の詩人を顕彰した。

(ウ) カエルのクラフトワークショップ

日時 7月23日(土)14時～15時 参加者 11人

内容 草野心平が蛙を主題とした詩を多く作ったことにちなみ、カエルのちょうちんを作るワークショップを開催した。

(エ) 子どもじゃんがら

日時 8月14日(日)11時～11時20分 鑑賞者 64人

内容 小玉郷土芸能クラブによるじゃんがら念仏踊を実演した。

(オ) 没後35回忌「心平忌」・第28回「心平を語る会」

日時 11月12日(土)13時～14時30分 鑑賞者 26人

内容 心平の命日(11月12日)にちなみ、心平が好んで聞いていた曲などをピアノとソプラノの独唱で演奏し、郷土の詩人を偲んだ。

(カ) 草野天平の集い

日時 2月26日(日)13時30分～14時30分 参加者 49人

内容 草野天平の誕生月にちなみ、天平が幼少期などを過ごした心平生家で、事業団職員による卓話と福島県立磐城高等学校合唱部による代表作品の合唱を行い、郷土の詩人を偲んだ。

ケ 事業懇談会の開催について

(ア) 第1回事業懇談会

日時 9月4日(日)10時30分～11時30分 出席委員 5人

議題 報告第1号 令和3年度いわき市草野心平記念館の実施事業について

報告第2号 令和4年度いわき市草野心平記念館の事業について

その他事項

(イ) 第2回事業懇談会

日時 3月11日(土)10時30分～11時30分 出席委員 6人  
議題 報告第1号 令和4年度いわき市草野心平記念館の実施事業について  
報告第2号 令和5年度いわき市草野心平記念館の実施計画について  
その他事項

(2) いわき市暮らしの伝承郷

いわき市鹿島町下矢田字散野14番地の16 平成11年7月18日開館  
委託者及び指定管理期間 いわき市 平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和4年度の入園者数は13,500人で、前年度比3,080人の増であった。本年度後半は、新型コロナウイルス感染症の感染が収束の方向に向かい、来園者の数が戻りつつあることがこの人数からも読み取れる。

伝承郷の中心事業である景観復元・伝承・管理作業は、「昔の暮らしの景観復元と伝承」をコンセプトとし、令和4年度も畑作・里山作りのほか、干し柿作りや餅花づくりなど古民家の生活復元を展示に取り入れ実施した。

常設展示事業の一環として、園内の見学に活用できるワークシート「ワクワク探検in伝承郷」の配布を行っている。これは、館内での配布と同時にホームページでの公開も行い、小学校の事前学習や見学の資料として活用されている。

また、本年度は旧猪狩家の茅屋根葺き替えを行い、現地見学を開催した。ほかに年中行事の復元として三和町の旧家で古くから行われていた門松を再現し、それを記録として残した。

そのほか、ボランティア育成、資料収集・整理作業、民俗調査・レファレンスなどを通年で実施した。

ア 企画展

第1回企画展「磐城平藩内藤家入封400年記念 小川江筋と昔の農業」を開催した。その際に行ったアンケートを読むと小川江筋に関心を寄せる人の多さに驚かされた。また、沢村勘兵衛についての興味が高く、本展示はこの2点のことからも市民の知識向上の欲求に十分にこたえることができたものとする。

第2回企画展「磐城平城の絵図と城下の年中行事」は、開催当初から、多くの来園者があり好評である。

共催展は「日本刀剣美術保存協会いわき支部刀剣鑑賞展2023」を日本刀剣美術保存協会いわき支部と共同で開催した。来園者の年代は幅が広く、市外からの来訪者も多かった。多くの人に見学の機会を提供できたことは大きな成果である。

ロビー展では、年中行事に合わせた民具の展示や体験教室の作品などを展示した。

(ア) 第1回企画展「磐城平藩内藤家入封400年記念 小川江筋と昔の農業」

会 期 4月30日(土)～11月27日(日)

入 園 者 8,429人

内 容 江戸時代初期に内藤政長が磐城平藩に入封して400年の節目を迎えたのを記念し、内藤家時代に整備された大規模な農業用水「小川江筋」を取り上げるとともに、江戸時代の農業について紹介した。

関連事業

a 展示解説会

日 時 5月28日(土)、6月25日(土)、9月10日(土)、同18日(日)、10月8日(土)、11月6日(日)いずれも13時30分～14時30分

参加者 計52人

(イ) 第2回企画展「磐城平城の絵図と城下の年中行事」

会 期 3月18日(土)～6月18日(日)

入園者 600人 [3月31日(金)現在]

内 容 江戸時代の磐城平城が描かれた城絵図や城下絵図を展示するとともに、磐城平城下で行われていた年中行事や町の人々の暮らしぶりを紹介する。

(ウ) 共催展「日本刀剣美術保存協会いわき支部刀剣鑑賞展2023」(共催 日本刀剣美術保存協会いわき支部)

会 期 2月2日(木)～同12日(日)

入園者 984人

内 容 いわきゆかりの日本刀や同会会員所蔵の刀剣の展示を行うとともに、たたらによる鉄づくり等について解説した。また、体験事業も実施した。

(エ) ロビー展

- a 端午の節句飾り展 会期 4月17日(日)～6月12日(日)  
内容 「鍾馗」の特大絵幟をはじめ、絵幟4点、鯉幟2点、節句飾り6点を展示した。
- b 七夕飾り展 会期 7月7日(木)～8月8日(月)  
内容 笹竹に藁馬(七夕馬)を飾り、来館者が短冊に願い事を書き笹竹に飾った。今年は、外国語の短冊もあり、国際色が豊かであった。笹竹と藁馬の展示のほかに、七夕の歴史やいわき市内の七夕に関連する行事について、パネルで紹介した。
- c 「戌辰の役 長橋合戦の図(模写)」 会期 7月9日(土)～8月22日(月)  
内容 「戌辰の役 長橋合戦の図(模写)」の原画になっているのは、福岡県柳川市三柱神社に戌辰戦争の戦勝を祝して奉納された絵馬である。それを後年二本松市出身の日本画家中村岳南が模写をした。絵図は令和4年3月にいわき市に寄贈された。展示では、絵図に描かれた平城落城の日の戦いの様子を解説した。
- d 遠野和紙と龍生派による花展 会期 8月27日(土)～9月3日(土)  
内容 龍生派むつみ会いわき支部といわき伝統遠野和紙のコラボレーションをうたった作品展を行った。
- e 「消しゴムはんこで『色紙絵』展 会期 9月1日(木)～同22日(木)  
内容 毎週木曜日に開催している「消しゴムはんこ彫り・ちぎり絵教室」の参加者による作品展を行った。
- f 『遠野和紙と書道教室』色紙展 会期 12月10日(土)～同19日(月)  
内容 いわき市の伝統工芸である「遠野和紙」を使った作品展を行った。
- g おひなさま展 会期 2月25日(土)～4月9日(日)  
内容 雛人形7点、関連資料1点を展示するとともに江戸時代の雛祭りやいわきの雛祭りの歴史をパネルで紹介した。

イ 講座・講演会

伝承郷講座は、昨年度新型コロナウイルス感染症の流行により順延となったものである。内容は、地域の民俗事例を取り上げ丁寧に解説したもので、受講者も熱心に聞き入っていた。

館長講座では、いわきの歴史や民俗などをテーマに講演した。いわき市に根差した内容で、好評を得た。

今年度新しく開講した「めざせ!『子ども落語家』講座」は、いわき市で活躍するアマチュア落語家・山椒家小粒氏を講師にむかえ、子どもたちが古典芸能「落語」を楽しく学ぶためのものである。4回の練習を重ね、堂々とした発表会での姿に、観客からも惜しみない拍手が送られた。

(ア) 伝承郷講座①「神がよみがえる海～浜通りのお浜下り～」

日 時 10月2日(日)13時30分～15時

講 師 丹野香須美氏 受講者 29人

内 容 令和2年度文化庁より「記録作業等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択された「浜通りのお浜下り」について、各地域の特徴などを紹介した。

(イ) 伝承郷講座②「古文書に見る年中行事とその再現 四家家『定例帳』を中心として」

日 時 3月25日(土)13時30分～15時

講 師 四家久央氏 受講者 23人

内 容 市内四家家に伝わる古文書「定例帳」から城下に伝わる年中行事を読み解いた。また、同家ではその再現も行い、これを写真などで紹介した。

(ウ) 館長講座

日 時 5月8日(日)、同15日(日)、7月9日(土)、同23日(土)、8月20日(土)、10月16日(日)、11月5日(土)、12月25日(日)、1月21日(土)、2月25日(土)、3月18日(土)いずれも13時30分～15時

受講者 計207人

内 容 「小川江筋と沢村勘兵衛」「小川江筋と沢村勘兵衛」「学制発布150年」「『戌辰の役 長橋合戦の図(模写)』と第三次磐城平の戦い」「『愛谷渠碑』を読み解く」「いわきの年中行事①～④」を表題として講演した。

(エ) めざせ!「子ども落語家」講座(連続講座と発表会)

a めざせ!「子ども落語家」講座 日時 6月25日(土)、7月23日(土)、8月12日(金)、同20日(土)、9月17日(土)いずれも10時～12時 受講者 計20人

b 子ども寄席(発表会) 日時 10月29日(土)10時～11時 鑑賞者 26人

(オ) 茅屋根葺き替え工事現地見学会

日 時 2月11日(土) 10時～11時、13時～14時、14時30分～15時30分

参加者 57人

内 容 (株)茅葺屋根保存協会の職員を講師に迎え、旧猪狩家の住宅の茅屋根葺き替えの説明と現地見学を行った。

## ウ 体験事業

体験学習会（主催）では、「民話の語り」「伝承郷で見つける自由研究」や「正月飾り作り」など、季節に合わせた内容で28回計画し、うち24回実施した。昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため各体験学習に定員を設け、事前申込制として実施した。定番化し好評を得ているものに加え、新規のプログラムを取り入れるなどし、幅広い年齢層が参加できるよう取り組んだ。

学社連携事業では、小学校と連携し、年中行事や昔の生活体験などを実施した。昔の風習・生活について理解を深めてもらう良い機会となった。

共催事業では、各種団体の要望で体験教室や演奏会などを共同で開催し、好評を得た。これは、新たな来園者層を開拓する機会となった。今後も各種団体との連携を図り事業の充実を図っていく。ほかに、学習管理棟休憩コーナーを会場に、ハーモニカ、ギター、箏・尺八や篠笛等の演奏会や寄席、フラメンコライブなどを実施した。各団体の熱のこもった演奏や演技に来館者の満足度も高かった。本年度も昨年同様に、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため定員を設け、事前申込制としたが応募者が多く抽選となった事業もあり、コロナ後の体制を考える必要を感じた。

「キッズミュージアムin伝承郷」は、園内全域を会場とし、「麦わらのコースター作り」「木の枝クラフト」「竹ぼっくり作り」の工作体験や、「輪投げ」「ゴム鉄砲射的」「水ヨーヨー釣り」などの昔遊び体験を実施した。近年では体験することの少ない昔遊びの場を提供することができた。

「キッズじゃんがら体験教室」では、下綴青年会の方々を講師に迎え、小学生向けのじゃんがら念仏踊りの体験教室を開催した。対象は小学生としていたが、同行していた保護者や小さな子どもたちも加わり賑やかな講座となった。

### (ア) 体験学習会

- a 節句のかぶと作り 日時 4月9日(土)10時～12時 中止
- b けん玉道場 日時 5月5日(木・祝)10時～12時 参加者 15人
- c 民話の語り 日時 5月7日(土)、9月3日(土)、11月12日(土)、1月7日(土)、3月11日(土)いずれも13時30分～14時30分 鑑賞者 計101人
- d 伝承郷寄席 日時 5月22日(日)14時～16時、3月26日(日)10時～12時、14時～16時 4月2日(土)・3日(日)は中止 鑑賞者 計108人
- e 布ぞうり作り（連続講座） 日時 5月21日(土)、同28日(土)いずれも9時30分～12時 参加者 計8人
- f ベビーおじょんこ作り（連続講座） 日時 6月12日(日)、同19日(日)、同26日(日)、7月3日(日)いずれも9時～12時 参加者 計19人
- g ヤマブドウの携帯ケース作り 日時 6月19日(日)10時～15時 中止
- h 伝承郷で見つける自由研究（連続講座） 日時 7月24日(日)、同31日(日)いずれも10時～15時 参加者 計9人
- i 竹編みの鍋敷き作り 日時 11月13日(日)9時30分～12時 参加者 5人
- j 押し花カレンダー作り 日時 11月19日(土)10時～12時 参加者 5人
- k 正月飾り作り（神棚用）日時 12月10日(土)9時～12時 参加者 6人
- l 正月飾り作り（玄関用）日時 12月17日(土)9時30分～12時 参加者 14人
- m 百人一首 日時 1月4日(水) 13時30分～15時 参加者 7人
- n 布ぞうり作り（連続講座） 日時 2月18日(土)、同19日(日)いずれも9時30分～12時 参加者 計12人

### (イ) 学社連携

- a 中央台みなみ土曜学級（昔遊び体験） 日時 8月27日(土)10時～12時 参加者 21人
- b いわき市立中央台南小学校5年生（脱穀体験） 日時 10月31日(月)9時30分～11時30分 参加者 21人
- c 松村看護専門学校（縄もじりとりんぼう作り体験） 日時 11月16日(水)12時～15時20分 参加者 31人
- d 中央台みなみ土曜学級（伝承郷ウォークラリー） 日時 12月17日(土)10時～12時 参加者 13人

### (ウ) 共催事業

- a 里山の暮らし体験（市民団体・ふるりの気） 日時 5月22日(日)～3月19日(日)いずれも9時30分～14時 8回実施 4月17日(日)、7月17日(日)、9月18日(日)、10月16日(日)は中止 参加者 計50人
- b 津軽こぎん刺し体験教室（塩谷美江氏） 日時 4月20日(水)・7月6日(水)いずれも9時～12時 参加者 計19人
- c 木よう体験教室（工房光・萩原光明氏） 日時 4月21日(木)～3月30日(木) 毎週木曜日いずれも10時～15時 49回実施 参加者 計513人
- d フラワーアレンジメント教室（落合陽子氏） 日時 4月22日(金)～3月24日(金) 原則第4金曜日いずれも10時30分～15時30分 12回実施 参加者 計118人
- e ハーモニカ演奏会（泉ハーモニカクラブひばり） 日時 6月4日(土)、10月1日(土)、3月4日(土)



いずれも10時30分～11時30分 鑑賞者 計99人

f 小雀落語会（小名浜雀笑落語会） 日時 6月5日(日)、9月25日(日)、12月4日(日)いずれも14時～16時 鑑賞者 計113人

g 七夕コンサート（箏アンサンブル雷神） 日時 7月10日(日)14時～15時 鑑賞者 26人

h 貯筋体操&レク・スポーツ（いわきFスポーツクラブ） 日時 7月20日(水)～1月25日(水) 毎週水曜日いずれも13時30分～15時 16回実施 9、10月は中止 参加者 計157人

i 篠笛演奏会（いわき濤笛会） 日時 9月11日(日)、3月5日(日)いずれも14時～15時30分 4月10日(日)は中止 鑑賞者 計52人

j ギターコンサート（コン・アモーレ） 日時 10月15日(土)14時～15時 鑑賞者 28人

k 朗読会 『百万回生きたねこ』佐野洋子：「老い」「生」について小気味なるエッセイ（朗読サロン「ミモザ」） 日時 11月26日(土)13時～14時 鑑賞者 39人

l 新春箏コンサート（筑紫野会） 日時 1月8日(日)14時～15時 鑑賞者 37人

m 伝承郷絵手紙教室（茨木美奈子氏） 日時 2月8日(水)10時～12時 参加者 5人

n フラメンコライブ「Cocuu」（リベルラスロハス） 日時 3月21日(火・祝)14時～15時30分 鑑賞者 47人

(エ) キッズミュージアムin伝承郷

日時 7月17日(日)10時～12時 参加者 119人

(オ) キッズじゃんがら体験教室（連続講座）

日時 9月4日(日)、同18日(日)いずれも10時～11時30分 受講者 計43人

## エ 伝統芸能実演

市内に残る伝統芸能である「じゃんがら念仏踊り」と「三匹獅子舞」の実演は伝承郷での毎年の恒例となっており、楽しみに来園される方も多し。本年度は「平窪子供じゃんがら」と大熊町に伝わる「熊川稚児鹿舞」の実演を行った。

(ア) 平窪子供じゃんがら 日時 8月6日(土)13時30分～14時30分 鑑賞者 18人

(イ) 熊川稚児鹿舞 日時 8月28日(日)11時～12時 鑑賞者 31人

## オ 年中行事再現

季節の節目にいわき地方で行われている様々な年中行事を再現・展示した。年配の来園者には懐かしさを思い出し、若い世代や子どもたちにはあまり目にすることがない年中行事を見ることで、地域に受け継がれた風習に興味を持つきっかけとなった。また、年中行事の再現は写真愛好家の被写体としても関心を集めた。

(ア) おひなさま（令和3年度から継続展示） 期間 2月20日(日)～4月10日(日)

(イ) 端午の節句飾り 期間 4月17日(日)～6月12日(日)

(ウ) 七夕飾り 期間 7月7日(木)～8月8日(月)

(エ) 盆棚飾り 期間 8月5日(金)～8月15日(月)

(オ) 蚊帳吊り 期間 8月15日(月)～10月21日(金)

(カ) 二百十日 月日 8月31日(水)

(キ) お月見・お月見どろぼう 月日 9月10日(土)（旧暦8月15日）

(ク) エビスコ 月日 11月13日(日)（旧暦10月20日）

(ケ) 干し柿作り 月日 11月13日(日)

(コ) 神帰り 月日 11月24日(木)（旧暦11月1日）

(サ) 煤払い 期間 11月23日(水・祝)～12月12日(月)

(シ) こと八日 月日 12月8日(木)

(ス) 餅つき 月日 12月26日(月)

(セ) 正月飾り 期間 12月28日(水)～1月15日(日)

(ソ) 山入り 月日 1月6日(金)

(タ) 農立て 月日 1月11日(水)

(チ) 小正月の餅花飾り 月日 1月15日(日)

(ツ) 節分 月日 2月3日(金)

(テ) 初午 月日 2月5日(日)

(ト) こと八日 月日 2月8日(水)

(ナ) エビスコ 月日 2月10日(金)（旧暦1月20日）

(ニ) おひなさま 期間 2月25日(土)～4月9日(日)

## カ 調査研究

市内各地の民俗の記録撮影や関係者への聞き取り調査を実施した。また、市民からの民具寄贈受け入れや民具調査を通年で実施した。

- (ア) 戦時中の金属類供出に関する資料調査 月日 4月24日(日)
- (イ) 熊川稚児鹿舞関連の調査 期間 4月～8月  
熊川稚児鹿舞保存会(大熊町)によって伝承されている熊川稚児鹿舞について、写真・映像による記録撮影、及び演者への聞き取り調査を実施した。
- (ウ) 小川江筋関連の調査 期間 4月～6月  
小川江筋流域の記録撮影、及び小川江筋土地改良区の関係者への聞き取り調査を実施した。また、小川江筋流域の寺社などにも調査の協力を仰いだ。  
以上の成果については、第1回企画展「磐城平藩内藤家入封400年記念 小川江筋と昔の農業」に活用した。
- (エ) いわき市内じゃんがら念仏踊り関連の調査 期間 6月～10月  
平窪伝統芸能クラブ、下綴青年会、高野じゃんがら念仏保存会、戸田じゃんがら念仏保存会、上仁井田じゃんがら保存会、上仁井田子どもじゃんがら保存会、大利じゃんがら保存会、下好間じゃんがら念仏保存会のじゃんがら念仏踊りについて、写真・映像による記録撮影、及び演者への聞き取り調査を実施した。
- (オ) 愛谷江筋関連の調査 期間 6月～11月  
愛谷江筋は、江戸時代のはじめに開削された農業用水で、藩主の命を受け三森治右衛門が工事の指揮を執った。明治時代に治右衛門の功績を称えた記念碑が建立されている。今年度はこの記念碑の採拓を実施したほか、江筋開削中に発見された石室と出土物について記載されている『國魂石室記』とその出土遺物、明治19年に描かれた絵図の撮影などを行った。
- (カ) いわき市内の獅子舞関連の調査 期間 8月～10月  
下平窪青年会、沼ノ内青年会、高坂郷土芸能保存会の三匹獅子舞について、写真・映像による記録撮影、及び演者への聞き取り調査を実施した。
- (キ) 馬玉神楽の調査 月日 8月27日(土)  
いわき市常磐馬玉町で伝承されている馬玉神楽について、写真・映像による記録撮影、及び演者への聞き取り調査を実施した。
- (ク) 鳥小屋の調査 月日 1月7日(土)  
いわき市豊間の鳥小屋を見学し、聞き取り調査を行った。
- (ケ) 水祝儀の調査 月日 1月9日(月)  
いわき市沼ノ内の水祝儀を見学し、聞き取り調査を行った。
- (コ) 民具寄贈の受け入れ 期間 4月1日(金)～3月31日(金)  
農具や節句飾り、キセルや煙草盆など36件(計429点)の受け入れを行った。

キ 園内管理事業(業者委託を除く) 期間 4月1日(金)～3月31日(金)  
園内景観復元・伝承・管理事業を一部ボランティアの協力を得ながら実施している。内容は、畑作(耕作・除草)、里山づくり(下草刈り・落葉集め等)、除草(民家周辺・通路)、落ち葉掻き・堆肥作り、植木剪定・枝落とし、垣根作り、池の浚渫、古民家清掃(ハタキ・掃き・雑巾がけ・障子張り)、囲炉裏火焚き、薪作り(切り出し→裁断→運搬→乾燥→薪割り→乾燥)、花木の展示(民家神棚等)、園内危険箇所点検・修繕などである。  
古民家は維持管理を行いながら、生活の場として使われていた当時を展示するために、薪や餅花、神棚の櫛などを配し、季節に応じた模様替えを行うとともに、民家周辺の除草や庭木の手入れなどを行い園内の景観維持に努めている。また、民家ゾーンでは、景観の素朴さから結婚式の前撮りやアニメファンがキャラクターの装束に扮し記念撮影を行う場所としても注目を集めている。記念撮影をする来園者の多くは市外からの来訪者で、文化財を観光資源として活用する方法にも広がりが見えてきた。

#### ク ボランティア育成事業

活動は大きくガイド、花と野菜作り、民家維持管理・年中行事の3つに分かれる。内容は、ガイドは団体の来園者に対する案内が主で、月に1回研修を行い案内に必要な知識を学んでいる。花と野菜作り、民家維持管理の活動は不定期であるが、ボランティアそれぞれが活動日を決め、希望の内容に沿って囲炉裏の火焚きや民家の清掃などの活動を行う。年中行事は施設側が日程を決め、事前に活動の依頼し行う。年間を通して様々な活動に多くのボランティアが参加し、施設の運営を支えている。

- (ア) ガイドボランティア例会 日時 4月25日(月)～3月27日(月) 原則毎月第4月曜日いずれも13時30分～15時 12回実施 参加者 計87人
- (イ) 園内ガイド、花と野菜作り、民家維持管理・年中行事 期間 4月1日(金)～3月31日(金) 参加者 計1,044人

#### ケ 団体利用

園内の古民家・昔の道具等の解説や昔遊び・石臼の使い方などの体験指導を実施した。次のように56団体、計2,571人が利用した。

|           |                           |      |
|-----------|---------------------------|------|
| 4月22日(金)  | いわき市立綴小学校                 | 16人  |
| 同28日(木)   | 双葉町立双葉南・北小学校              | 14人  |
| 6月23日(木)  | 特定非営利活動法人ワークハウスいわき        | 35人  |
| 7月20日(水)  | 学校法人まこと学園まこと幼稚園           | 97人  |
| 同25日(月)   | 白河市中央公民館                  | 18人  |
| 8月27日(土)  | 中央台みなみ土曜学習                | 21人  |
| 9月2日(金)   | いわき市立中央台南小学校              | 40人  |
| 同7日(水)    | いわき市立夏井小学校                | 9人   |
| 同8日(木)    | いわき市立御厩小学校                | 52人  |
| 同9日(金)    | いわき市立草野小学校                | 80人  |
|           | 福島県立聴覚支援学校平校              | 4人   |
|           | いわき市立錦小学校                 | 61人  |
|           | いわき市立小名浜第一小学校             | 48人  |
|           | いわき市立小川小学校                | 36人  |
| 同14日(水)   | いわき市立小名浜第三小学校             | 78人  |
|           | いわき市立豊間小学校                | 27人  |
|           | いわき市立江名小学校                | 16人  |
| 同15日(木)   | いわき市立菊田小学校                | 74人  |
|           | いわき市立平第二小学校               | 68人  |
| 同15日(木)   | いわき市立渡辺小学校                | 15人  |
| 同16日(金)   | いわき市立藤原小学校                | 29人  |
|           | いわき市立赤井小学校                | 45人  |
|           | いわき市立勿来第二小学校              | 55人  |
|           | いわき市立平第四小学校               | 45人  |
| 同21日(水)   | いわき市立小玉小学校                | 50人  |
|           | いわき市立平第五小学校               | 99人  |
| 同22日(木)   | いわき市立高坂小学校                | 74人  |
|           | いわき市立長倉小学校                | 66人  |
|           | いわき市立久之浜第一小学校             | 26人  |
| 同29日(木)   | いわき市立好間第二小学校              | 30人  |
| 同30日(金)   | いわき市立永崎小学校                | 53人  |
|           | いわき市立湯本第一小学校              | 68人  |
| 10月3日(月)  | いわき市立磐崎小学校                | 94人  |
| 同6日(木)    | いわき市立平第三小学校               | 52人  |
|           | いわき市立大浦小学校                | 44人  |
| 同7日(金)    | いわき市立勿来第一小学校              | 57人  |
|           | いわき市立内町小学校                | 25人  |
|           | いわき市立植田小学校                | 84人  |
| 同13日(木)   | いわき市立平第一小学校               | 67人  |
| 同14日(金)   | いわき市立湯本第三小学校              | 68人  |
|           | いわき市立平第六小学校               | 48人  |
| 同20日(木)   | いわき市立高野小学校                | 10人  |
|           | いわき市立泉小学校                 | 177人 |
| 同24日(月)   | 学校法人松崎学園神谷こども園            | 42人  |
| 同27日(木)   | いわき市立小名浜第二小学校             | 84人  |
| 同28日(金)   | いわき市立川部小学校                | 10人  |
| 同31日(月)   | いわき市立中央台南小学校              | 21人  |
| 11月16日(水) | 松村看護専門学校                  | 31人  |
| 12月17日(土) | 中央台みなみ土曜学習                | 13人  |
| 1月18日(水)  | いわき市立高久小学校                | 19人  |
| 同26日(木)   | いわき市立中央台東小学校              | 46人  |
| 同27日(金)   | いわき市立中央台北小学校              | 39人  |
| 2月3日(金)   | いわき市立鹿島小学校                | 36人  |
|           | 福島県いわき海浜自然の家「第5回わくわく自然体験」 | 26人  |
| 同11日(土)   | 日本大学工学部                   | 15人  |
| 3月27日(月)  | 北茨城市「むかし体験教室」             | 14人  |

#### コ 出前講座

要請を受け、いわきのじゃんがら今昔についての講座や、昔の暮らしや道具の説明、石臼と洗濯板の使い方の体験指導を行った。次のように2団体、計86人が受講、体験した。

6月9日(木) いわき市立大浦公民館「大浦女性セミナー 郷土の歴史について学ぶ」 16人  
1月19日(木) いわき市立好間第一小学校「昔の道具や暮らしについて知ろう」 70人

#### サ 連携事業

当財団管理施設と連携し、割り箸鉄砲作り等の昔遊び体験を実施した。次のように2施設で、計153人が体験した。

10月23日(日) 福島県いわき海浜自然の家「秋のオープンデー」 125人  
2月26日(日) いわき市生涯学習プラザ「第18回生涯学習フェスティバル」 28人

#### シ 企画展示室使用状況

親子三人展

会 期 1月26日(木)～1月30日(月)

入園者 71人

内 容 田中佑季明氏の母・姉との三人展。絵画や写真、書籍等が展示された。

#### ス 事業懇談会について

##### (ア) 第1回事業懇談会

日時 9月19日(月・祝)10時～11時30分 出席委員 6人

議題 懇談事項1 令和3年度事業報告について

懇談事項2 令和4年度事業経過報告(4～8月)及び事業計画(9～3月)について

その他事項

##### (イ) 第2回事業懇談会

日時 3月5日(日)10時～11時 出席委員 7人

議題 懇談事項1 令和4年度 事業経過報告について(9～2月)

懇談事項2 令和5年度 事業計画について

その他事項

### (3) いわき市勿来関文学歴史館

いわき市勿来町関田長沢6番地の1 昭和63年7月1日開館

委託者及び指定管理期間 いわき市 平成30年4月1日～令和5年3月31日

令和4年度の利用者数は8,586人で、昨年度と比べて3,359人の増となった。昨年度はいわき市の「感染拡大防止一斉行動」や福島県の「まん延防止等重点措置」を受け、70日間が臨時休館となったが、今年度は通常開館に戻ったため、利用者が大幅に増えた。利用者が増えた要因としては、行動制限の緩和や旅行支援の充実などにより、勿来の関公園を訪れる観光客数が新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻ってきたことが考えられる。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、いわき市の「感染拡大防止のための春の集中対策期間」及び「家族で感染を防ぐGW集中対策期間」に基づき、4月1日(金)から5月15日(日)までの期間は、事業実施について適宜検討、対応した。本報告で事業を延期または中止、縮小しているのは、以上のことが理由である。さらに、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を定めたいわき市の「感染防止いわきスタイル宣言」に基づき、施設の管理運営や事業を実施した。

なお、付近の倒木に伴う館内の停電により、9月5日(月)を臨時休館とした。

#### ア 企画展

企画展・スポット展示については、一般にはあまりなじみのない文学や歴史を紹介した企画が多かったように思われるが、いわきゆかりの文学や歴史に関する今まで知らなかったことを学べて良かったという意見がアンケートに多く寄せられるなど、高い評価を得ていたことがうかがえる。会期中には、関連事業として講演会やギャラリートークを開催した。講演会には企画展の内容に関連する分野を研究する外部の研究者を講師に迎えて、最新の研究成果を市民に分かりやすく普及したことで、企画展に関する分野をより深く理解できたと好評だった。また、毎月1回ギャラリートークを開催し、学芸員が展示内容を詳しく解説した。

なお、第2回企画展「徹底解説!磐城七浜捕鯨絵巻」は、暮らしの伝承郷令和4年度第1回企画展「小川江筋と昔の農業」などと同じく「磐城平藩内藤家入封400年記念」として開催し、スポット展示1「白木英尾」は、草野心平記念文学館が所蔵する白木英尾関係資料を展示するなど、市内文化施設との連携も図った。

##### (ア) 令和3年度スポット展示2「幕領小名浜の代官たち」

会 期 2月19日(土)～4月19日(火)

入館者 1,965人 [4月1日(金)～4月19日(火)は1,071名]

内容 いわき市小名浜には幕領を管轄する代官所があった。幕領小名浜を治めた歴代の代官たちの治績やエピソードを紹介した。

関連事業

a ギャラリートーク

日時 4月10日(日)14時～14時30分

聴講者 22人

(イ) 第1回企画展「大須賀乙字の仲間たち～近代俳句の青春～」

会期 4月23日(土)～7月3日(日)

入館者 1,417人

内容 いわき市出身の俳人大須賀乙字やその友人たち、小澤碧童・喜谷六花・村上鬼城・荻原井泉水などの書簡や作品から、明治・大正時代の俳人群像を紹介した。

いわき市出身の俳人・俳論家で明治・大正時代に活躍した大須賀乙字の生涯や俳句について、令和元年度第1回企画展「乙字のトランク」に続いて、師である河東碧梧桐や同門の小澤碧童、喜谷六花、荻原井泉水、俳句仲間だった臼田亜浪、大谷句仏、中村不折、高浜虚子、坂本四方太、村上鬼城、伊東月草らが乙字に宛てた書簡や書などから、乙字と彼らの豊かな交流を紹介した。乙字だけではなくその周辺の俳人たちを紹介し、「新傾向俳句」で明治末期の俳壇を席卷した彼らが近代俳句史に残した業績を広く市民に知っていただけた。

関連事業

a 講演会「大須賀乙字の出発—新傾向俳句の提唱者として」

日時 6月18日(土)14時～15時30分

聴講者 37人

内容 田部知季氏(早稲田大学文学学術院講師)を講師に招き、乙字が提唱し、明治期に一時期俳壇を席卷した新傾向俳句について講演した。近代俳句の専門研究者による講演会は、大須賀乙字と同時代の俳人との関係や俳壇史における乙字の功績を周知するよい機会となった。

b ギャラリートーク

日時 5月8日(日)、6月12日(日)いずれも14時～14時30分

聴講者 計2人

(ウ) 第2回企画展「徹底解説!磐城七浜捕鯨絵巻」

会期 7月9日(土)～9月20日(火)

入館者 1,629人

内容 いわき地方における捕鯨は、江戸時代に伝わったと言われている。この頃に描かれた「磐城七浜捕鯨絵巻」をもとに、浜の暮らしや捕鯨について解説した。

磐城七浜捕鯨絵巻は浜の巻と海の巻の全2巻で構成されているが、今回の企画展では、全2巻の複製と浜の巻の原本を展示した。原本はこれまで公開される機会はあまりなく、特に市内で前回公開されたのは10年以上前だったため、市民にとっては貴重な機会となった。また、「磐城平藩内藤家入封400年記念」ということで、磐城平藩内藤家に伝来した内藤家文書のうち、捕鯨に関する内容が記載された古文書の複製なども展示し、いわき地方を治めた内藤家にまつわる歴史も紹介できた。このほか、江戸時代の捕鯨にまつわる歴史などについても解説し、磐城七浜捕鯨絵巻の描写以外に関する事柄も理解できるよう努めた。

関連事業

a 講演会「内藤家と磐城平藩—延享4年の所替を素材に一」

日時 8月20日(土)14時～15時30分

聴講者 24人

内容 日比佳代子氏(明治大学博物館学芸員)を講師に招き、磐城平藩内藤家が延岡藩に転封する過程について講演した。市民講座などではあまり聞けない内藤家文書をもとにした内容で、参加者に好評だった。

b ギャラリートーク

日時 7月17日(日)、8月7日(日)いずれも14時～14時30分

聴講者 計16人

(エ) 第3回企画展「動乱の中の猪狩家～戦国時代の岩城氏家臣～」

会期 11月19日(土)～2月14日(火)

入館者 1,906人

内容 猪狩家は戦国時代、いわき市周辺を治めた岩城氏に仕えていた家である。近年発見された猪狩家に伝来した古文書を通して、猪狩家とこの時代を紹介した。

戦国時代のいわき地方の歴史について、最新の研究成果を反映させ、周辺勢力との関係も分かるように解説した。展示品の古文書は、漢文調で書かれていて市民にとって非常に難解なので、解説に読み下し文だけでなく、内容が簡潔に分かる見出しを記載して、少しでも簡単に感じてもらえるよう心掛けた。これまで戦国時代を主題とした企画展が市内で開催されたことが少なかったため、戦国時代の歴史を紹介できたことに一定の意義があったと思われる。

#### 関連事業

- a 講演会「戦国大名の外交関係―岩城氏と伊達氏を中心に―」

日 時 2月4日(土)14時～15時30分

聴講者 46人

内 容 菅野正道氏(元仙台博物館学芸普及室長)を講師に招き、戦国時代の岩城氏と伊達氏の外交関係について講演した。従来の研究にはない説も交えた内容で、いわき地方の戦国時代の様相を周知する良い機会となった。

- b ギャラリートーク

日 時 12月11日(日)、1月15日(日)、2月12日(日)いずれも14時～14時30分

聴講者 計35人

- (オ) スポット展示1「白木英尾」

会 期 9月24日(土)～11月15日(火)

入 館 者 1,152人

内 容 いわき市平赤井生まれの歌人・白木英尾は前田夕暮に師事し、福島県歌人會會長を務め、福島民報歌壇の選者としても活躍した。その生涯と足跡を原稿や著作などでたどった。

白木英尾の生い立ちから前田夕暮との親交の様子、いわきや福島県の歌壇での活躍について、英尾が遺した2冊の歌集に関わる資料など、晩年に至るまでの歩みを自筆資料や雑誌、書籍、愛用品などの資料で紹介した。前田夕暮から贈られた掛軸や自筆の夕暮歌集、英尾の歌集のために寄せられた中山義秀の自筆原稿など多くが今回初めて市民に公開された。英尾の短歌作品やいわき市短歌連盟の前身の岩城歌話會、福島県歌人會の創設に携わるなど昭和のいわき歌壇や福島県歌壇を先導した英尾の活動について理解を深める機会となったと思われる。

#### 関連事業

- a 講演会「白木英尾と浜通りの歌人」

日 時 10月29日(土)14時～15時30分

聴講者 22人

内 容 伊藤正幸氏(いわき市短歌連盟會長・福島民友新聞短歌欄選者)を講師に招き、白木英尾の功績や主な浜通りの歌人の系譜について講演した。いわきの歌壇の歴史について造詣が深い伊藤氏により、英尾の短歌作品についての詳細な解説や、同時代の歌人たちの動静にも言及して、英尾の生涯を掘り下げた内容であった。大内与五郎、阿部良全などいわき市出身の歌人たちのほか、大熊町出身の佐藤祐禎などの紹介もあり、いわきだけではなく浜通りの歌人たちの業績や作品についても知っていただけた。

- b ギャラリートーク

日 時 9月25日(日)、10月9日(日)、11月13日(日)いずれも14時～14時30分

聴講者 計5人

- (カ) スポット展示2「いわきの絵はがき～勿来関と勿来海岸～」

会 期 2月18日(土)～4月18日(火)

入 館 者 1,185人 [3月31日(金)現在]

内 容 勿来関と勿来海岸の絵はがきを中心に風景画や観光資料なども展示し、勿来関周辺の時代ごとの遷り変わりについて紹介した。

明治時代から昭和時代にかけて観光地として発展した現在のいわき市勿来町の風景が描かれた当館蔵の絵はがきを中心に展示し、勿来関・勿来入口・勿来海岸・二つ島・勿来海水浴場にまつわる歴史を解説した。特に、昭和時代の風景を描いた絵はがきを見て、過去を懐かしむ声や現在とは違う光景に驚いたという感想が多く、当該地域の歴史を周知できたことに一定の意義があったと思われる。

#### 関連事業

ギャラリートーク

日 時 3月12日(日)14時～14時30分

聴講者 6人

#### イ 市民ギャラリー展示

市民ギャラリーの利用は8回あり、うち3回は今回初めて利用する団体・個人だった。今回初めて利用した「俳句作品展示會」(月俳句會・川部俳句會主催)と、例年利用している「短歌作品展」(勿来短歌を楽しむ會主催)は、それぞれ内容が関連する企画展「大須賀乙字と仲間たち」、スポット展示「白木英尾」の会期中に開催したことで、効果的に利用者数を増やせた。今回初めて利用した、いわき市出身のアーティストによる作品展「君ヲ迎エル詩」(金澤裕子主催)も、普段当館を利用しない美術愛好家などの層が多く訪れた。

- (ア) 「第12回『勿来八景』フォトコンテスト入選作品展」(令和3年度)

主 催 いわき市南部地区中心市街地活性化協議會

会 期 3月17日(木)～4月8日(金)

- 内容 第12回「勿来八景」フォトコンテスト入選作品を展示した。
- (イ) 「第35回勿来の関歌会入選作品」  
 主催 勿来ひと・まち未来会議  
 会期 4月1日(金)～3月31日(金)  
 内容 第35回勿来の関歌会入選作品を展示した。
- (ウ) 「俳句作品展示会」  
 主催 月俳句会、川部俳句会  
 会期 4月10日(日)～5月8日(日)  
 内容 いわき市内に拠点を置いて活動する月俳句会、川部俳句会が合同で作品を展示した。
- (エ) 「原爆と人間」  
 主催 いわき市  
 会期 8月1日(月)～同16日(火)  
 内容 原爆の悲惨さや核廃絶の取組などを紹介した。
- (オ) 「短歌作品展」  
 主催 勿来短歌を楽しむ会  
 会期 10月20日(木)～11月19日(土)  
 内容 勿来地区で活動する短歌会が作品を展示し、会員の活動成果を発表した。
- (カ) 「君ヲ迎エル詩～金澤裕子絵画展～」  
 主催 金澤裕子  
 会期 11月29日(火)～1月3日(火)  
 内容 いわき市・双葉郡の風景を描いたアクリル画とその風景にまつわる詩、いわきにゆかりのある名作「安寿と厨子王物語」絵本原画を展示した。
- (キ) 「櫻花～日本人の心の情景に寄せて～」  
 主催 稲田幹夫  
 会期 2月16日(木)～3月14日(火)  
 内容 市内在住の写真家が撮影した桜の写真を展示した。
- (ク) 「第13回『勿来八景』フォトコンテスト入選作品展」(令和4年度)  
 主催 いわき市南部地区中心市街地活性化協議会  
 会期 3月18日(土)～4月6日(木)  
 内容 第13回「勿来八景」フォトコンテスト入選作品を展示した。

#### ウ 特別イベント

今年度初めて、ゴールデンウィーク特別イベントとして「勿来の関寄席」を開催した。日本の伝統文化である落語を平安時代の邸宅を模した吹風殿で聴講するという趣向もあって、参加者に大変好評だった。

クラフト教室について、以前は当館職員が講師を務めていたが、今年度は外部講師を招いて開催した。なお、外部講師の活用は、昨年度予定していたクラフト教室でも計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催中止となっていた。夏休みに開催した「夏休みわくわくバルーンアート教室」では、市内在住のバルーンアーティストの指導により、バルーンでクジラを制作した。冬休みに開催した「ペットボトルで『マイトレジャーオーナメント』を作ろう！」では、市内出身のアーティストらの指導により、演劇鑑賞とクリスマスオーナメント制作を行った。専門家の指導により内容が充実し、好評の声が多かった。

- (ア) 「勿来の関寄席」  
 日時 4月30日(土)14時～15時30分 参加者 29人  
 内容 日本の伝統文化を普及する事業として、いわき市在住の落語家、山椒家小粒氏、武相亭八木助氏による寄席を開いた。
- (イ) 「夏休みわくわくバルーンアート教室～くじら～」  
 日時 8月7日(日)10時～11時30分 参加者 11人  
 内容 馬籠洋子氏(バルーンアーティスト)の指導により、バルーンでクジラを制作した。
- (ウ) 「ペットボトルで『マイトレジャーオーナメント』を作ろう！」  
 日時 12月24日(土)13時～15時 参加者 21人  
 内容 一般社団法人AILESと金澤裕子氏の指導のもと、ペットボトルを使いクリスマスオーナメントを制作した。ワークショップの導入として演劇も行った。

#### エ 協力・後援

市内文化施設との連携では、いわき市立美術館ニューアートシーン・イン・いわき「竹内公太展～浜の向こう～」の関連事業として開催されたツアー「浜の記憶をさぐる」の案内人を、当館職員が務めた。

地域との連携では、「勿来八景」フォトコンテスト及び勿来の関歌会の審査員を当館館長が務め、作

品展示場所として市民ギャラリーを提供した。

(ア) ニューアートシーン・イン・いわき「竹内公太展～浜の向こう～」(協力)

主 催 いわき市立美術館

内 容 当館職員が会期中の催し物であるツアー「浜の記憶をさぐる」の案内人として、勿来町関田地区にある風船爆弾基地跡を巡った。

(イ) 第13回「勿来八景」フォトコンテスト(後援)

主 催 いわき市南部地区中心市街地活性化協議会

内 容 当館館長が審査員を務めた。入選作品展の会場として市民ギャラリーを提供した。

(ウ) 第36回勿来の関歌会(協力)

主 催 勿来ひと・まち未来会議

内 容 当館館長が審査員を務めた。入選作品展の会場として、令和5年度に市民ギャラリーを提供することを予定している。

オ 団体入館者

各種団体に対し常設展・企画展について解説し、勿来関にまつわる歴史や文学などを詳しく周知した。次のように24団体、計618人が利用した。

- 4月6日(水) 年金者組はいわき支部 30人
- 同28日(木) いわき市立勿来第一小学校 55人
- 5月6日(金) 福島県立いわき支援学校くぼた校 14人
- 同10日(火) いわき市立勿来第二小学校 89人
- 6月14日(火) いわき市立勿来第三小学校 10人
- 7月8日(金) いわき市立小名浜第二小学校 69人
- 9月13日(火) いわき市立錦小学校 61人
- 同16日(金) いわき市立藤原小学校 23人
- 10月14日(金) いわき市立入遠野小学校 20人
- 同26日(水) いわき市立千寿荘 39人
- 古河電池株式会社 12人
- 11月6日(日) やまぶき会 6人
- 同12日(土) 双掌の会 17人
- 同21日(月) ユニバーサルトラベル 15人
- 五十年会 10人
- 同22日(火) いわき市立久之浜第一小学校 20人
- 同25日(金) 一宮町農業委員会 7人
- 同29日(火) 大島二丁目緑寿会 18人
- 12月15日(木) アルファ謝恩忘年会 24人
- いわき市旅館・ホテル業連絡協議会 10人
- 同30日(金) 平成観光自動車 22人
- 2月16日(木) 美乃浜学区明るい地域づくりの会 17人
- 3月9日(木) 東京ヤサカ観光バス 20人
- 同17日(金) 世田谷海外研修の会 10人

カ 出前講座

要請により、地域の歴史や文学を解説し、受講者の知的好奇心に応えた。

8月4日(木) 久之浜公民館「市民講座ふるさと歴史教室～久之浜・大久あれこれ～」 14人

キ レファレンス対応

(ア) 収蔵資料の調査 1件 (イ) 収蔵資料の貸出・返却 1件 (ウ) 問い合わせ対応 3件

ク 博物館実習の受け入れ

事業の運営補助や収蔵資料の整理、展示解説資料の作成などを行った。

期間 8月5日(金)～同9日(火) 実習生 2人(都留文科大学1人、中央大学1人)

ケ 調査研究活動

(ア) 大須賀乙字関連資料の調査 期間 2月～4月

いわき市で幼少期を過ごした俳人大須賀乙字について、当館に所蔵している友人たちから乙字へ宛てた葉書、書簡について調査し、解説を行った。以上の成果については、第1回企画展「大須賀乙字と仲間たち」に活用した。

(イ) 近世捕鯨関連資料の調査 期間 5月～6月

いわき地方に関係する近世捕鯨関連資料を調査した。以上の成果については、第2回企画展「徹



底解説！磐城七浜捕鯨絵巻」に活用した。

- (ウ) 白木英尾関連資料の調査 期間 7月～9月  
いわき市立草野心平記念文学館が所蔵する白木英尾関連資料を調査した。以上の成果については、スポット展示1「白木英尾」に活用した。
- (エ) 戦国期猪狩氏関連資料の調査 期間 9月～11月  
戦国期岩城氏家臣猪狩氏関連資料の解説などを行った。以上の成果については、第3回企画展「動乱の中の猪狩家」に活用した。
- (オ) 勿来関連の絵はがきの調査 期間 10月～2月  
絵はがきや観光資料をもとに勿来周辺周辺の整備過程について調査した。以上の成果については、スポット展示2「いわきの絵はがき」に活用した。
- (カ) 鈴木家文書の整理 期間 11月～12月  
円山四条派の画家として知られる鈴木寿山を出した家でもある、現在のいわき市渡辺町に居住していた鈴木家に伝来した史料群を整理した。以上の成果については、佐藤耕太郎「いわき市勿来関連文学歴史館蔵「鈴木家文書」」(『いわき市教育文化事業団研究紀要』第20号、2023年)に掲載した。
- (キ) 松山寺文書の調査 期間 12月～3月  
科学技術調査研究費基盤研究(C)「中近世移行期における南東北地方の基礎的研究」(研究所代表者：遠藤ゆり子)の研究協力者として、松山寺(勿来町関田)所蔵文書の写真撮影などを行った。
- (ク) 山名菅村資料の調査 期間 12月～3月  
大國魂神社(平菅波)所有の山名菅村関連資料の解説などを行った。以上の成果については、令和5年度企画展「山名菅村」に活用することを予定している。

#### コ 事業懇談会の開催について

- (ア) 第1回事業懇談会  
日時 7月11日(月)10時～11時 出席委員 7人  
議題 会長の選出について  
事業懇談会実施要項の改正について  
令和3年度事業報告について  
今後の予定について  
その他
- (イ) 第2回事業懇談会  
日時 3月6日(月)10時～11時 出席委員 6人  
議題 令和5年度事業計画について  
今後の予定について  
その他

### (4) いわき市アンモナイトセンター

いわき市大久町大久字鶴房147番地の2 平成4年11月19日開館  
委託者及び指定管理期間 いわき市 平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和4年度の入館者数は、前年度と比べて7,724人多い14,777人であり(前年度比209.5%)、平成23年の東日本大震災以降で最も多い入館者数となった。これは昨年度に臨時休館していた期間及び主催事業を中止した期間があることや、昨年度と比較して新型コロナウイルス感染症の流行が収まってきたことから、全国的に人の移動が増加した為であると考えられる。但し9月以降、厳冬期(12月～2月)に掛けては5月の連休や夏休み期間と比較して来館者が少なく、年度下半期における来館者の獲得が課題である。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、いわき市の「感染拡大防止のための春の集中対策期間」及び「家族で感染を防ぐGW集中対策期間」などにに基づき、4月1日(金)～10月2日(日)までの期間の体験発掘については、中止や人数を上限の半分にあたる100人に制限した上で実施するなど適宜対応した。10月8日(土)からは新型コロナウイルス感染症感染防止対策を定めた「感染防止いわきスタイル宣言」に基づき、施設の管理運営や事業を実施した。また、同宣言ポスターを館内に掲示し、利用者へ周知を図った。

#### ア 企画展

いわき市周辺で産出する化石では、フタバサウルスに代表されるクビナガリュウ類やアンモナイト化石が有名であるが、夏休み企画展では国内では数少ない中生代白亜紀や新生代古第三紀の陸生哺乳類化石、新生代新第三紀のゾウやクジラの化石を展示した。特に中生代哺乳類は世界的にも現在進行形で研究が進んでいる分野であり、常磐地域において化石が産出する意義を示した効果は大きい。冬休み企画展では、平成4年11月に開館し、令和4年で開館30年を迎えたアンモナイトセンターの年毎の出来事や来館者数の変動、施設周辺の変容などを過去の写真を交えながら展示・紹介した。

夏休み企画展、冬休み企画展ともに会期中のミニ発掘を目的に来館する利用者が見受けられ、体験発掘非実施日の入館者数増に貢献した。

ア) 夏休み企画展「いわきの化石哺乳類」展

会 期 7月16日(土)～8月31日(水)

入 館 者 2,980人

内 容 いわき市に分布する新生代の地層からは陸生哺乳類やクジラ等の海生哺乳類化石が多く産出し、研究が行われてきた。この企画展では、いわき市から産出する新生代の哺乳類化石を展示の中心に置きながら、常磐地域が中生代以降にどのような環境だったのかを紹介、解説した。

関連事業 ミニ発掘体験コーナー（三葉虫） 会期中の体験発掘非実施日に実施した。

イ) 冬休み企画展「開館30年！アンモナイトセンター今昔」展

会 期 12月17日(土)～1月9日(月・祝)

入 館 者 914人

内 容 アンモナイトセンターは、今年度で開館30年を迎えた。30年の間には、東日本大震災等多くの困難が伴ったが、市民の皆様や市外から訪問してくれた方々に支えられてきた。本展では、アンモナイトセンターの30年間の歩みを振り返るとともに、今後の展望について紹介した。

関連事業 ミニ発掘体験コーナー（三葉虫） 会期中の体験発掘非実施日に開催した。

イ 体験学習

一般体験発掘及び特別体験発掘を合計した体験発掘参加者数は前年度の5,152人を大きく上回る10,751人（前年度比208.7%）となっている。体験発掘参加者の居住地別割合をみると、例年通り県外からの利用者の割合が多くなっている。

一般体験発掘では、既述のように、10月2日(日)までは参加上限数を定員の半分の100人で実施したが参加者数9,495人と、前年度4,453人に比べて大幅に増加している（前年度比213.2%）。

小・中学校を中心とした特別体験発掘に関しては参加団体数37（前年度比168.2%）、参加人数1,256人（前年度比179.7%）と個人向けの一般体験発掘に比べると増加の割合が小さい。利用団体の内訳を見ると、市内小学校が7校のほか市内の公共団体が3団体と市内からの利用は全体の3割弱（30.3%）となり、昨年度よりも団体数、割合とも低くなっている。一方、県内他市町村や県外の小・中学校や高等学校等での利用が多くなっている。また、産業技術総合研究所地質調査総合センターの社会人研修での利用や、ふくしま海洋科学館の新人研修での利用など研究機関の利用が見られる。しかし、未だに東日本大震災前の水準までは回復しておらず、特に関東圏の小・中学校からの利用はほとんどない。福島第一原発事故による風評被害により利用しなくなってしまった関東圏の小・中学校等の団体での利用促進を積極的に推し進めることが今後の課題として考えられる。

親子自然探訪教室では、地質学や古生物学に限定しない自然科学分野の多様なテーマを設定し、野外での体験を軸としたアクティブラーニングプログラムを提供した。前年度に引き続き祝日となる月曜日を主体として全5回を開設した。前年度に比べて開催回数は増加したが、一回当たりの参加者が減少したために全体の参加者数は減少している。参加者数は開催テーマや、同じテーマであっても年度に因るばらつきが有り、参加者数増減の要因の分析や開催内容の検討・改編に努める必要がある。

ア) 一般体験発掘

会 期 毎週土曜日・日曜日、4月29日(金・祝)、5月3日(火・祝)～同5日(木・祝)、7月18日(月・祝)、9月23日(金・祝)、10月10日(月・祝)10時～11時30分、13時30分～15時

大型連休中の4月29日(金)、同30日(土)、5月3日(火・祝)～同5日(木・祝)、同7日(土)、同8日(日)は10時～11時30分・12時20分～13時50分・14時40分～16時10分の3回実施

回 数 197回 参加者 計9,495人

イ) 特別体験発掘

次のように37団体、計1,256人が参加した。

4月13日(水) 伊達市立霊山中学校 49人

同21日(木) 八戸市立中沢中学校 32人

同28日(木) 双葉町立双葉南・北小学校 18人

5月10日(火) 旭市立干潟中学校 45人

同14日(土) 福島県立博物館 20人

同20日(金) 国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター 12人

同26日(木) いわき市立久之浜第二小学校 26人

6月3日(金) 国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター 7人

同8日(水) 本宮市立岩根小学校 65人

同18日(土) 二本松市立原瀬小学校 20人

同28日(火) 天栄村立大里小学校 15人

7月12日(火) 南相馬市立太田小学校 21人

同14日(木) ふたば未来学園中学校 3人

同21日(木) 田村市立瀬川小学校 13人

- 7月28日(木) 放課後ならはっ子教室 71人
- 8月2日(火) 銚田市子ども会育成連合会 50人
- 同6日(土) いわき市神谷公民館 9人
- 同14日(日) 小川理科研究所 6人
- 9月1日(木) 福島市立三河台小学校 74人
- 同9日(金) いわき市立小川小学校 36人
- 同15日(木) いわき市立平第二小学校 73人
- 同16日(金) いわき市立平第四小学校 70人
- 同22日(木) いわき市立磐崎小学校 102人
- 10月7日(金) いわき市立植田小学校 85人
- 同13日(木) いわき市立小名浜東小学校 69人
- 南相馬市立八沢小学校 24人
- 同14日(金) 石川義塾中学校 31人
- 同16日(日) ボーイスカウトいわき第1団 19人
- 同29日(土) 須賀川東公民館 16人
- 11月10日(木) 東北高校 38人
- 同12日(土) 令和4年度再生加速化交付金事業モニターツアー 13人
- 同15日(火) 郡山市立東芳小学校 34人
- 12月22日(木) 仙台ECO動物海洋専門学校 8人
- 同25日(日) Vamos福島ホワイトリバーフットボールクラブ 21人
- 2月19日(日) 令和4年度再生加速化交付金事業モニターツアー 31人
- 同21日(火) 公益財団法人ふくしま海洋科学館 5人
- 3月8日(水) 慶應義塾普通部 星と石の会 25人

(ウ) 親子自然探訪教室

次のように5回、計84人が参加した。

- 9月10日(土) 「中秋の名月を見にいこう！」 8人
- 同19日(月・祝) 「不思議なキノコを探しにいこう！」 28人
- 11月3日(木・祝) 「陶芸に挑戦しよう！」 16人
- 1月9日(月・祝) 「冬の野鳥を見にいこう！」 9人
- 3月19日(日) 「コハクを発掘しにいこう！」 23人

ウ 化石講演会

日 時 1月27日(金)13時30分～15時

会 場 いわき市立久之浜第一小学校、同第二小学校、同久之浜中学校（アンモナイトセンターからリモート配信）

演 題 解き明かせ、恐竜のナゾ

講演者 田中 康平氏（筑波大学生命環境系 助教）

エ 出前講座

要請を受け、いわきの恐竜に関する講義や、化石のクリーニング体験等の体験事業を実施した。次のように6回、計144人が参加した。

- 6月2日(木) いわき市立久之浜公民館 13人
- 8月2日(火) 長倉小学校ときわ児童クラブ 35人
- 同19日(金) 錦星こども学園 27人
- 9月21日(水) いわき市立久之浜第一小学校 17人
- 10月5日(水) いわき市立湯本第三小学校 40人
- 同8日(土) いわき市立高久公民館 12人

オ 連携事業

当財団管理施設と連携し、化石クリーニング体験事業を実施した。

- 2月26日(日) いわき市生涯学習プラザ「第18回生涯学習フェスティバル」 3人

カ 調査研究活動

アンモナイトセンターが立地する双葉層群足沢層に関して、古生物学的、堆積学的、地球化学的な観点からの研究を諸機関と合同で行った。

- (ア) 筑波大学との共同研究として、アンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した脊椎動物化石について研究を行った。
- (イ) いわき市四倉町八茎に分布する時代未詳古生層について現地にて地質調査を行った。
- (ウ) 茨城大学、名古屋大学博物館、公益財団法人深田地質研究所と共同で行った「アンモナイトセ

ンター内化石包蔵地」に関する地質学的・地球化学的研究についての論文が日本地質学会誌「地質学雑誌」に受理、掲載された。

- (エ) 公益財団法人深田地質研究所、福島県立博物館、三笠市立博物館、茨城大学、いわき自然史研究会との共同研究として、アンモナイトセンターの体験発掘露頭から産出したアンモナイト類化石の研究を行った。

#### キ 自然系他館等との連携

- (ア) 企画展「アンモナイト合戦」のため、福島県立博物館にアンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した化石やアンモナイトの復元模型を貸与した。
- (イ) 共同研究先の筑波大学に、アンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した脊椎動物化石を貸与した。
- (ウ) 夏休み企画展における展示標本として、双葉層群足沢層産出の「原始哺乳類の下あご化石」を広野町教育委員会より借用した。
- (エ) 企画展「アンモナイトの不思議～太古の海の不思議な生き物～」のため、栃木県立博物館にアンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した化石を貸与した。
- (オ) 共同研究先の公益財団法人深田地質研究所に、アンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した二枚貝化石を貸与した。

#### ク 外部従事

歌川史哲 (いわき市アンモナイトセンター研究員)  
日本古生物学会邦文誌「化石」編集委員  
福島県文化財保護審議会委員 (地質鉱物・古生物担当)  
福島工業高等専門学校非常勤講師

#### ケ 刊行物

月刊アンモナイト通信 第4巻4号～12号、第5巻1号 毎月1号刊行

#### コ 資料整理事業

いわき市所有の化石標本等について、登録作業を行った。(I-423336～I-423430)

#### サ 運営委員会

##### (ア) 第1回運営委員会

日時 6月24日(金)10時～11時 出席委員 7人

議題 報告第1号 令和3年度事業について

報告第2号 令和4年度第1四半期(4～5月)の事業について

報告第3号 令和4年度第2四半期以降の事業計画について

##### (イ) 第2回運営委員会

日時 2月10日(金)10時～11時 出席委員 7人

議題 報告第1号 令和4年度2月期迄の事業について

報告第2号 令和4年度3月の事業計画について

報告第3号 令和5年度の事業計画について

## (5) いわき市考古資料館

いわき市常磐藤原町手這50番地の1 平成9年12月1日開館

委託者及び指定管理期間 いわき市 平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和4年度の利用者は5,903人となり、前年度比509人、9.4%増加した。内訳は、入館者が5,246人で前年度比634人増、出前講座などの館外利用者は24件657人で、前年度比9件、125人減となった。また、団体入館者は、31件785人で、前年度比13件、83人増となった。

主な事業は、企画展、講座・講演会、体験学習会で、いわき市内の遺跡とその発掘調査の成果をもとに地域の歴史と魅力を紹介した。いずれも5年間の指定管理期間の計画に沿うとともに、平城跡の発掘調査等、地域の特色にちなんだ展示会、講座を弾力的に企画、実施した。

また、小学校の校外学習等をはじめとした児童、生徒の団体利用を受け入れ、わかりやすい展示解説はもとより、まが玉づくりなどの体験学習を実施し、歴史への関心、理解を深める機会とした。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、いわき市の「感染拡大防止のための春の集中対策期間」及び「家族で感染を防ぐGW集中対策期間」に基づき、4月1日(金)～5月15日(日)の期間は、事業実施について適宜検討、対応した。本報告で事業を延期または中止、縮小しているのは、以上のことが理由である。その後は、感染防止対策を定めた「感染防止いわきスタイル宣言」に基づき、同宣言ポスタ

一を館内に掲示し、利用者へ周知を図りながら管理運営や事業を実施した。

#### ア 企画展

「令和3年度発掘速報展」「いわきの縄文時代を探る いのりのかたち—縄文人の造形—」「いわきの縄文時代を探る 貝塚に学ぶ」の3企画展を開催した。前年度の発掘調査の報告、そして指定管理4年目の時代区分として縄文時代を主題とした企画展を実施した。

市内での最新の発掘調査の成果を展観した「発掘速報展」では、これまでのアンケートの意見をもとに遺跡毎の地図パネルを掲示するなど、よりわかりやすい展示内容とした。平城跡の展示では「城の遺構や明治期のものが出てきた事に新しい発見があった」という感想が寄せられるなど、地域の歴史を紹介する機会となった。

企画展「いのりのかたち—縄文人の造形—」「貝塚に学ぶ」では、「儀式」「祭祀」という特徴的な視点で遺物を展観したことで、「貴重な数々を拝見できて良かった」「興味深い展示品がたくさんあり、とても勉強になりました」という感想が寄せられ、いにしえのいわき地域で自然と調和を図っていた縄文人の精神文化の一端を紹介する機会となった。一方、より丁寧な解説を求める意見もあり、今後、改善を図っていきたい。

#### (ア) 第1回企画展「令和3年度発掘速報展」(共催 いわき市教育文化事業団)

会 期 4月23日(土)～7月3日(日)

入 館 者 1,227人

内 容 令和3年度に試掘・確認調査、発掘調査、資料等整理を実施した遺跡の成果を、出土遺物と写真パネルを使って解説した。

関連事業

##### a 遺跡報告会

日 時 5月8日(日)13時30分～15時

聴講者 16人

内 容 平城跡、新林遺跡、地藏院遺跡、梅ノ作瓦窯跡群の発掘成果を財団職員が報告した。

##### b 展示解説会

日 時 5月8日(日)15時～16時、6月19日(日)13時～14時

聴講者 24人

#### (イ) 第2回企画展「いわきの縄文時代を探る いのりのかたち—縄文人の造形—」

会 期 7月16日(土)～11月20日(日)

入 館 者 2,326人

内 容 縄文時代の「いのり」に焦点を当て、いわき市内から出土した多くの「いのり」の道具を通して、自然と調和し、共生した縄文人の精神文化を紹介した。

関連事業

##### a 展示解説会

日 時 7月17日(日)、10月2日(日)いずれも13時～14時

聴講者 15人

##### b 講演会「土偶～縄文時代の心のかたち～」

日 時 9月4日(日)13時30分～15時

聴講者 26人

内 容 じょーもびあ宮畑の堀江格所長補佐が、縄文時代の人々の生活様式や自然環境などをもとに、土偶の形体やその背景について講演した。

##### c ワークショップ「土偶づくりに挑戦！」

日 時 9月10日(土)10時～12時

聴講者 13人

内 容 いわき市内の遺跡から出土した土偶について学びながら、粘土で土偶をつくった。

##### d 考古資料館寄席「落語でめぐるいのり」

日 時 10月30日(日)14時～15時30分

聴講者 29人

内 容 山椒家小粒氏、武相亭八木助氏がいのりにちなんだ落語を上演したほか、財団職員が発掘調査の経験談などを紹介し、笑いとともに考古学への理解を深めるきっかけとした。

#### (ウ) 第3回企画展「いわきの縄文時代を探る 貝塚に学ぶ」

会 期 12月3日(土)～3月26日(日)

入 館 者 969人

内 容 海に面したいわき市内では縄文時代の貝塚が多数確認されている。再生を祈る儀礼の場だったともされる貝塚の出土品を通して、自然と共生した縄文人の生活文化を紹介した。

関連事業

##### a 展示解説会

日 時 12月11日(日)10時～11時、3月5日(日)14時～15時

聴講者 計19人

b 講演会「動物考古学から探る貝塚の魅力」

日 時 2月5日(日)13時30分～15時

聴講者 23人

内 容 國學院大學の山崎京美氏を講師に迎え、市内の貝塚遺跡から出土した動物遺体にに基づき、それらから推定される縄文時代の人々の生活様式や自然環境等について講演した。

c ワークショップ「貝殻ストラップづくり」

日 時 12月17日(土)10時～12時

参加者 21人

内 容 貝塚の出土品や古代の装身具にちなみ、貝殻でストラップをつくった。

## イ 講座・講演会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため前年度から延期した内容も含め、いわき市生涯学習プラザ「ふるさと再発見講座」との共催事業として「いわきの考古学講座」を実施したほか、中田横穴についての特別講演会を実施した。様々な主題、視点から遺跡、史跡について講演、解説し、地域の歴史についての理解を深める機会とした。

(ア) 令和3年度 いわきの考古学講座 第4・5回 (共催 いわき市生涯学習プラザ)

日 時 4月16日(土)、同23日(土)13時30分～15時

受講者 78人 受講登録60人

内 容 令和3年度企画展「いわきの古墳時代を探る」の関連講座で、延期していた2回を実施した。玉山古墳や中田横穴が造られた古墳時代の墓や副葬品について、第一線の研究者が講義を行った。講座名と出講師は次のとおり。

a 「いわき市中田横穴出土の馬具の復元」 吉田 秀享氏 (川俣町教育委員会)

b 「いわきの横穴と飛鳥・斑鳩～八幡横穴群の出土品から～」 横須賀 倫達氏 (文化庁)

(イ) 特別講演会「中田装飾横穴について(続)」

日 時 10月15日(土)13時30分～15時

受講者 22人

内 容 福島県考古学会の馬目順一顧問が、いわき市を代表する装飾横穴である国史跡「中田横穴」の考古学的考察と副葬品などについて講演した。

(ウ) いわきの考古学講座 (共催 いわき市生涯学習プラザ)

日 時 11月20日(日)、12月18日(日)、1月15日(日)、2月19日(日)、3月19日(日)いずれも13時30分～15時

受講者 延べ123人 受講登録34人

内 容 企画展の主題「いわきの縄文時代を探る」関連講座として、いわきの縄文時代の遺跡や発掘された土器や土偶から縄文時代の文化と生活について学んだ。講座名と出講職員は次のとおり。

a 「縄文時代の祈りの道具」 大滝 駿介 (当財団研究員)

b 「縄文土器のみかた」 本間 宏氏 (公益財団法人福島県文化振興財団)

c 「貝塚から見た浜通りの縄文文化-浦尻貝塚を中心に-」 川田 強氏 (南相馬市教育委員会)

d 「法正尻遺跡から考える縄文時代の生活」 松本 茂氏 (日本考古学協会会員)

e 「いわきの縄文遺跡を探る」 木幡 成雄 (当館館長)

## ウ 体験学習会

大型連休、夏・冬の長期休暇等にあわせて、体験学習会や自由研究教室を実施した。いわき市内から出土した遺物にふれて学ぶ機会を提供し、主に親子連れの参加者が考古学に親しむ機会とした。

古代まつりでは体験学習会に加え、敷地内にキッチンカーを出店し、終日にわたって体験に参加できるよう工夫した。

(ア) ゴールデンウィーク体験学習会 中止

a 勾玉づくり体験

日 時 5月1日(日)、同4日(水・祝)、同5日(木・祝)いずれも9時30分～11時30分、13時30分～15時30分

b 火おこし体験、弓矢で狩りに挑戦

日 時 5月1日(日)9時30分～11時30分、13時30分～15時30分

(イ) 夏休み 親子で体験！考古学

a 自由研究教室「土器を調べて、つくってみよう」

日 時 7月31日(日)9時30分～11時

受講者 18人

内 容 いわき市内の遺跡から見つかった土器について学び、粘土で土器づくりを体験した。

b 古代人の技に挑戦！(まが玉づくり)

日 時 7月24日(日)、8月7日(日)、8月14日(日)いずれも9時30分～12時、13時30分～15時

参加者 計65人  
内 容 古代のアクセサリーであるまが玉づくりを体験した。

c 古代人の技に挑戦!

日 時 8月7日(日)9時30分～12時、13時30分～15時

参加者 計71人

内 容 縄文土器・土偶づくりのほか、火おこしや弓矢を体験した。

(ウ) 古代まつり

日 時 11月13日(日)10時～11時30分、13時30分～15時

参加者 計210人

内 容 土器・土偶、まが玉づくりのほか、火おこしや弓矢を体験した。まが玉づくりでは、約5倍の大きさの「メガ玉」づくりも数量限定で体験した。

(エ) 冬休み 古代の道具づくり

日 時 12月25日(日)、1月8日(日)いずれも10時～11時30分、14時～15時30分

参加者 計57人

内 容 まが玉または土器・土偶づくりのいずれかを体験した。

(オ) いろいろまが玉づくり

日 時 2月12日(日)10時～11時30分、14時～15時30分

参加者 計31人

内 容 白色か桃色の滑石を成形した後、白色の場合は参加者が5色から選んだ希望色で着色するまが玉づくりを体験した。

エ 団体入館

学校・公民館・支所・各種団体への展示解説及びまが玉づくりなどの体験指導を実施した。市内の発掘調査で見つかった土器・石器などを実見し、触れるなかで、様々なものづくりを体験しながらいわきの歴史の一端を伝えた。次のように31団体、計785人が利用した。

4月28日(木) いわき市立磐崎小学校 83人

5月27日(金) アルパイン寿会 20名

同28日(土) 桜の聖母学院幼稚園・小学校教員 6人

同30日(月) 郷土史サークル 12人

6月10日(金) いわき市立三和小学校 36人

同11日(土) 藤原公民館(藤原土曜笑楽校) 9人

同30日(木) いわき市立湯本第三小学校 41人

7月4日(月) いわき市立藤原小学校 26人

同7日(木) 東日本国際大学 5人

同8日(金) いわき市立小名浜第三小学校 69人

同9日(土) 常陸佐竹研究会 41人

同14日(木) 藤原公民館 15人

9月9日(金) いわき市立上遠野小学校 26人

同16日(金) いわき市立平第四小学校 70人

同21日(水) 福島県立石川支援学校たまかわ校 15人

10月6日(木) いわき市立大浦小学校 51人

同13日(木) いわき市立中央台北小学校 39人

同13日(木) 茨城県立常陸太田特別支援学校 25人

同19日(水) 福島県立猪苗代支援学校 7人

同27日(木) いわき市立好間第四小学校 10人

同27日(木) 埼玉県羽生市立村君小学校 12人

11月4日(金) いわき市立鹿島小学校 54人

同4日(金) いわき市立川部小学校 12人

同8日(火) 海浜自然の家利用客 12人

同22日(火) いわき市立久之浜第一小学校 19人

同22日(火) いわき市立好間第四小学校 11人

12月1日(木) 二本松市立小浜中学校 21人

同14日(水) 福島民報社 10人

2月19日(日) でんてつ四季の旅 17人

3月20日(月) ホテルパームスプリングス利用者 8人

3月28日(火) 学童クラブ エンジェルキッズ 3人

オ 出前講座

学校や公民館等から要請を受け、まが玉づくりなどの体験学習指導や、地域の歴史について講義した。また、当館の魅力や利用法を紹介し、利用促進を図った。次のように9団体、計239人が受講した。

- 4月28日(木) いわき市立桶売中学校「桶売地区の歴史」 8人
- 7月13日(水) いわき市立高久小学校「神谷作101号墳についての講話とまが玉づくり」 28人
- 8月19日(金) 長倉小ときわ児童クラブ「土器・土偶づくり体験」 17人
- 同22日(月) 長倉小ときわ児童クラブ「まが玉づくり体験」 16人
- 9月1日(木)・2日(金) いわき市立磐崎中学校総合学習「自分の生き方を考える」 83人
- 11月5日(土) いわき市立常磐公民館「まが玉づくり体験」 9人
- 同17日(木) いわき市立湯本第二中学校「職業講話ワークショップ」 21人
- 1月10日(火) いわきの里(好間公民館)「まが玉づくり体験」 10名
- 2月4日(土) いわき市立錦公民館「土器・土偶づくり体験」 47人

#### カ 連携事業

当財団管理施設と連携し、土偶やまが玉をつくる体験学習会や、磐城平城田町曲輪の発掘調査についての講演を実施した。当館の事業について周知を図る機会とし、利用促進を図った。次のように2施設で、計146人が体験、聴講した。

- 10月23日(日) いわき海浜自然の家「秋のオープンデー」 65人
- 2月25日(土) いわき市生涯学習プラザ「第18回生涯学習フェスティバル(体験)」 10人
- 同25日(土)、26日(日) いわき市生涯学習プラザ「第18回生涯学習フェスティバル(講演)」 71人

#### キ ボランティア

主に体験学習会の運営協力としてボランティアが活動している。また、ボランティアの募集、研修を兼ねて、館の概要、活動内容の説明、そして体験学習会内容の実習と参加者への接遇について学ぶボランティア養成講座を開講した。

- (ア) 活動実績 登録者20人 活動実績 計27回
- (イ) 養成講座 日時 6月18日(土)13時30分～16時、10月22日(土)14時～16時 受講者 計16人

#### ク レファレンス対応

いわき市内の遺跡から出土した資料の閲覧、貸出について、所管課の許諾を確認、対応したほか、いわきに関連する史実、資料等についての問い合わせに対応し、参考資料を紹介するなどした。

- (ア) 収蔵資料の調査 13件 (イ) 収蔵資料の貸出・返却 14件 (ウ) 問い合わせ対応 11件

#### ケ 博物館実習の受け入れ

資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及などの博物館業務を体験、理解する機会を提供し、学芸員として必要とされる知識・技術などの基礎・基本を修得する実習を実施した。当館の特性にちなみ、出土遺物の水洗、整理等の実習も実施した。

- 期 間 8月22日(月)～同26日(金)
- 実習生 6人(茨城キリスト教大学、学習院大学、駒澤大学2人、東海大学2人)

#### コ 事業懇談会

- (ア) 第1回事業懇談会
  - 日時 7月23日(土)10時～12時 出席委員 7人
  - 議題 報告第1号 令和3年度事業報告について
  - 報告第2号 令和4年度経過報告について
- (イ) 第2回事業懇談会
  - 日時 3月11日(土)10時～10時45分 出席委員 6人
  - 議題 報告第1号 令和4年度経過報告について
  - 報告第2号 令和5年度事業計画について

### (6) 福島県いわき海浜自然の家

いわき市久之浜町田之網字向山53 平成8年7月20日開所  
委託者及び指定管理期間 福島県 平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和4年度の利用状況は、438団体、延べ利用者数27,404人で、利用者予測の25,000人を2,404人上回り、令和3年度(304団体・17,062人)との比較で、団体数で144.1%、延べ利用者数では160.6%となった。

令和3年度は、新型コロナによる宿泊利用の受け入れ停止期間が5箇月間余りあったが、令和4年度は、昨年度に引き続き利用定数を半数以下、利用日数も1泊2日までとした一方、宿泊利用の受け入れ停止期間については、部活動の合宿に限られたこともあり、全体的に利用状況の回復傾向が認められた。

学校教育団体の宿泊活動については、学校の規模を考慮しながら1日あたりの利用受け入れは最大6



校まで、さらに宿泊は3校までとしたが、ほぼ予約通りの利用状況となっており、また、社会教育団体については、利用日数の制限を設けなかったことに加え、海浜活動のボディボードを活動プログラムに追加したことなどで、夏休み期間中の利用について好評を得た。県外からの利用では、相双地区の小学校と原発事故により避難先となった関東圏の小学校との交流を兼ねた合同の宿泊活動もあった。学校教育団体の利用に関する特徴として、県内各地から203団体の小学校の利用があり、約半数の県内小学校が当施設を訪れていることが挙げられる。

企画事業は、新型コロナ対策の一環として事前予約の定員制としているが、毎回、定員の5～6倍の申し込みがあり、コロナ禍で、家族で体験できる自然活動への関心が高まっている状況が窺える。

施設管理に関しては、引き続き当所の「新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル」に基づき、感染拡大防止対策を徹底し、利用者が安全に、安心して利用できるよう努めた。

## ア 主催事業

主催事業は、新型コロナ感染拡大防止対策を徹底しながら実施した。例年、1月に会津地方でスキーを楽しむ「冬を楽しもう」については、新型コロナの感染状況を踏まえ、当初の1月8日(日)から2月19日(日)に延期したが、中止とした。代替事業として平日の利用促進も兼ねて、所内で成人を対象とした「つるかごWorkshop」を行った。その他の事業についても、参加人数の制限及び事前申し込み制としたが、申し込みにあたっては、事業内容に応じてインターネットなど多様な方法を取り入れるなど利用者の利便性に配慮した。

### (ア) 遊ぼう！初夏の海で

日 時 5月15日(日)9時30分～14時30分

参加者 16人 定員30人程度

内 容 初夏の舟戸海岸で、釣りや磯遊びを楽しみながら、親子のふれあいを深めた。

### (イ) 春のオープンデー（第1回未来キッズ生き生き事業）

日 時 5月29日(日)10時～15時

参加者 193人 定員200人

内 容 施設を県民へ広く開放し、様々な体験活動をとおして、当所への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフや地域団体とのふれ合いにより、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。

### (ウ) ふれあいサマーキャンプ

日 時 7月30日(土)8時45分～19時30分

参加者 29人 定員30人

内 容 県内の小学校4～6年生を対象として、いかだ乗りやボディボード、キャンプファイア等を行い、自然体験活動をとおして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。7月29日(金)から31日(日)までの2泊3日の予定であったが、新型コロナ感染拡大防止のため、1日のみの日帰りで実施した。

### (エ) スポーツフェスティバル（第2回未来キッズ生き生き事業）

日 時 10月9日(日)10時～14時30分

参加者 229人 定員250人

内 容 子どもから大人まで一緒にニュースポーツなどを楽しみながら健康への意識向上を図った。特に、いわきFCを講師に招いたサッカー体験教室は好評であった。

### (オ) 秋のオープンデー（第3回未来キッズ生き生き事業）

日 時 10月23日(日)10時～15時

参加者 274人 定員250人

内 容 施設を県民へ広く開放し、様々な体験活動をとおして、当所への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフや地域団体とのふれ合いにより、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。当財団が管理している4施設（考古資料館・暮らしの伝承郷・草野心平記念文学館・アンモナイトセンター）の体験ブースも設置し、好評を得た。

### (カ) ふれあいオータムキャンプ

期 間 11月5日(土)～6日(日)

参加者 24人 定員24人

内 容 県内の小学校4～6年生を対象として、テント設営、ナイトハイキング、野外炊飯、背戸峨廊ハイキング等を行い、自然体験活動をとおして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。

### (キ) 親子のつどい

日 時 12月11日(日)10時～15時

参加者 51人 定員50人程度

内 容 家族が協力し、自然の素材を利用したクリスマスリース・ミニ門松作りと自然の家オリジナルのゲームを通して親子の絆を深めた。

(ク) 冬を楽しもう！

日 時 2月19日(日) 中止

内 容 いわき地区の親子を対象に会津地区でスキー教室を実施し、福島県の風土の豊かさを感じるとともに、自然体験活動の楽しさを知る事業。新型コロナの感染状況を踏まえ、1月9日(日)から2月19日(日)に延期したが、中止とした。

(ケ) クラフトのつどい

日 時 2月5日(日)10時～14時30分

参加者 129人 定員150人

内 容 ドライフラワーのジェルキャンドル、凧、キーホルダー、ストーンアート、貝の壁飾り等を製作した。子どもから大人まで楽しめるクラフトを提供し、多くの地域の方々に当所への理解を深めてもらうことができた。

(コ) 森の音楽会

日 時 3月5日(日)14時～15時30分

参加者 94人 定員80人

内 容 豊かな自然環境にあるいわき海浜自然の家で、いわきゆかりの演奏家のジャズ演奏を楽しんでいただき、多くの地域の方々に当所への理解を深めてもらうことができた。

(サ) ミニ企画事業「つるかごWorkshop」

日 時 3月16日(木)10時～12時

参加者 19人 定員20人

内 容 自然の家周辺で採取した葛のつるを使って、オリジナルのかごを製作した。自然の家の閑散期を利用し、平日に成人を対象として講座を実施することで、他者との交流の場を提供するとともに、当所の魅力を発信し、理解を深めてもらうことができた。

イ 研修企画事業

(ア) 学校団体指導者事前研修会

日 時 4月14日(木)、同21日(木)、同28日(木)、7月26日(火)いずれも9時30分～15時

参加者 延べ195校

内 容 令和4年度に宿泊活動で当所を利用する学校教育団体の指導者向けに、活動計画の立案や活動方法についての事前研修会と団体間の活動プログラム内容の調整を行った。開催にあたっては、新型コロナ感染拡大防止のために、オンラインで実施した。

(イ) 活動プログラム研修会

日 時 5月13日(金)9時15分～14時30分

参加者 12団体18人

内 容 令和4年度に利用する社会教育団体を対象に、施設見学・プログラムの実技研修等をおこなって、自主的な活動の進め方や活動計画作成に理解を深め、円滑な活動ができるよう助言や指導を行った。

(ウ) ボランティア養成講座

日 時 5月8日(日)、7月10日(日)、9月25日(日)、12月18日(日)いずれも9時30分～14時30分

受講者 延べ36人

内 容 自然体験を伴う活動を支援する上で必要な知識と技能を習得するとともに、ボランティアスタッフとしての資質向上を図った。全4回。

ウ 未来キッズ生き生き事業 第4～6回

いわきFCによるサッカー体験教室、ペットボトルロケット、屋内外のニュースポーツ、アスレチックなどで身体を動かすプログラムを提供し、運動不足の解消や体力向上を促進した。全6回で、第1～3回は主催事業との共催事業である。

日 時 11月27日(日)、1月22日(日)、2月26日(日)いずれも10時～14時30分

参加者 計439人 定員 第4・5回150人 第6回100人

エ 心のケアが必要な子ども（不登校等）を対象とした自然体験事業

浜通り地域の不登校傾向にある児童生徒等を対象に、関係機関やスクールカウンセラーと連携を図りながら自然体験活動や交流体験の機会を提供した。いわき市については市総合教育センターの協力を得た。第4回は初めて一泊二日の宿泊で実施したほか、第5回では、暮らしの伝承郷との連携で、古民家体験、節分行事、餅つきを楽しんだ。

わくわく自然体験

日 時 7月1日(金)、9月18日(日)、10月21日(金)、11月19日(土)～20日(日)、2月3日(金)

参加者 5回実施 延べ77人

オ 出前講座

いわき市立公民館や児童クラブ等に出向き、自然体験活動やクラフトなどのプログラムを提供した。

市内の公民館と連携することで、各地域で当所の活動を広報することができた。次のように8団体、計538人が受講した。

- 6月5日(日) 国立磐梯青少年交流の家 203人
- 7月27日(水) いわき市立四倉公民館 129人
- 同29日(金) いわき市立小川公民館 45人
- 8月3日(水) くすのキッズ 43人
- 同4日(木) いわき市立長倉小学校ときわ児童クラブ 34人
- 12月17日(土) いわき市考古資料館 21人
- 2月4日(土) いわき市立鹿島公民館 35人
- 3月14日(火) 社会福祉法人いわきの里 28人

#### カ 連携事業

当財団管理施設と連携し、各施設の特徴を生かした事業を実施した。自然への理解を深めるきっかけを提供するとともに、施設及び事業紹介、ストラックアウト、輪投げ体験を行った。当所の周知についても良い広報の機会となった。次のように2回、計95人が参加した。

- 9月10日(土) いわき市アンモナイトセンター 親子自然探訪教室「中秋の名月を見にいこう！」  
8人
- 2月25日(土)・同26日(日) いわき市生涯学習プラザ「第18回生涯学習フェスティバル」 87人

#### キ 施設利用

期 間 4月1日(金)～3月31日(金)

利用者 438団体(学校教育団体242団体 社会教育団体155団体 その他4団体) 延べ利用者数27,404人  
福島県教育庁社会教育課の指示に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、次のような対応を行った。

- 4月1日(金)～6月12日(日) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れは、全国大会、東北大会及び県大会での宿泊を除いて停止)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、徐々に実施。
- 6月13日(月)～8月11日(木・祝) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れについても同様)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、実施。
- 8月12日(金)～9月19日(月・祝) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れについては、当面の間停止)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、実施。
- 9月20日(火)～12月15日(木) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れについても同様)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、実施。
- 12月16日(金)～3月31日(金) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れについても同様)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、実施。

### (7) いわき市生涯学習プラザ

いわき市平字一丁目1番地 平成14年4月16日開館

委託者及び指定管理期間 いわき市 令和2年4月1日～令和7年3月31日

令和4年度の利用者数は55,668人で、前年度に比べて19,262人の増となった。また、施設使用許可申請数は2,351件で136件の減となった。申請件数は減少しているが利用者数が増えた要因としては、市による感染症対策の緩和、サークルや団体の利用はもちろんのこと、官公署や企業、労働組合等による会議での会場使用が増えたためである。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、いわき市の「感染拡大防止のための春の集中対策期間」及び「家族で感染を防ぐGW集中対策期間」に基づき、4月1日(金)～5月15日(日)の期間は、開館時間を20時までとした。

#### ア 講座・事業

市民講座は、年間55講座を実施した。主催講座では、初心者から上級者向けで人気のあるパソコン講座、自分だけのオリジナルの作品がつくれる陶芸、七宝焼きのものづくり講座、親子で協力しながら行う紙漉き&絵手紙、親子陶芸講座を実施した。また、ボランティア活用事業として、子育て支援ボランティアによる幼児とその保護者向けの手遊び、タオルを使った運動、季節行事にあわせた工作や

ITボランティアリーダーによるパソコン講座を毎月開催し、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対応した講座を提供した。さらに、サークル・団体が実施するサークル企画講座では、「朗読教室」「楽しい朗読」「スクラッチで音楽を作ろう!」「粘土でかわいい動物をつくろう」を延べ8講座開催した。

その他の自主事業では、「七夕飾り」「雑誌リサイクル会」「クリスマスディスプレイ」の3件を実施した。共催事業の「普段着のお茶会」「第53回諸流いけばな展」は、事前予約制や人数制限、マスクの着用、手指の消毒の徹底に努め、共催団体と協力・工夫をして開催した。

(ア) 高度で専門的な講座

- a いわきの考古学講座（いわき再発見講座）（共催 いわき市考古資料館）※令和3年度延期分  
日 時 4月16日(土)、同23日(土)13時30分～15時 全5回 3年度3回実施  
受講者 延べ223人（4年度78人） 受講登録60人  
内 容 中田装飾横穴や玉山古墳が造られた「いわきの古墳時代」について学び、いわき市の歴史を学んだ。外部研究者及び当財団職員が講師を務めた。
- b Excel ステップアップ（パソコン実用講座Ⅳ）※令和3年度延期分  
日 時 4月4日(月)～同25日(月)18時30分～20時 全4回  
受講者 延べ72人 受講登録20人  
内 容 エクセル中級者対象講座。VLOOKUP関数をはじめとした関数、集計作業に便利なグラフの作成など応用的な操作について学んだ。
- c Excel 上級講座（パソコン実用講座Ⅴ）※令和3年度延期分  
日 時 4月7日(木)～同28日(木)18時30分～20時 全4回  
受講者 延べ64人 受講登録20人  
内 容 Excel 上級者対象講座。ピボットテーブルを使用してのデータ解析や、マクロの作成方法などを学んだ。
- d いわきの文化総合講座（教養充実講座）（共催 いわき市教育文化事業団）  
日 時 6月15日(水)～3月15日(水)18時30分～20時30分 全9回  
受講者 延べ100人 受講登録20人  
内 容 当財団の職員が講師を務め、歴史、考古学、民俗、文学、古生物など様々な分野におけるいわきの最新の文化について学んだ。
- e はじめよう! Word（パソコン実用講座Ⅰ）  
日 時 7月7日(木)～7月28日(木)18時30分～20時30分 全4回  
受講者 延べ77人 受講登録20人  
内 容 ワード初心者対象講座。文字のコピー・貼り付けなどの基礎的な操作や段落・フォントサイズの変更などを理解し、実際に表を作成した。
- f Wordステップアップ!（パソコン実用講座Ⅱ）  
日 時 9月1日(木)～9月22日(木)18時30分～20時30分 全4回  
受講者 延べ67人 受講登録20人  
内 容 ワード中級者対象講座。ワードを使った実用的な文書作成や図形作成、差し込み印刷など応用的なスキルを学んだ。
- g はじめよう! Excel（パソコン実用講座Ⅲ）  
日 時 11月10日(木)～12月8日(木)18時30分～20時30分 全4回  
受講者 延べ61人 受講登録17人  
内 容 エクセル初心者対象講座。データ入力、編集やセルの入力方法等の基礎的な操作を理解し、表の作成からグラフ作成を学んだ。
- h Excelステップアップ!（パソコン実用講座Ⅳ）  
日 時 1月26日(木)～2月16日(木)18時30分～20時30分 全4回  
受講者 延べ75人 受講登録20人  
内 容 パソコン経験者を対象に、エクセルの実用的な方法を学んだ。
- i Excel 上級講座（パソコン実用講座Ⅴ）  
日 時 3月2日(木)～3月23日(木)18時30分～20時30分 全4回  
受講者 延べ74人 受講登録20人  
内 容 エクセル上級者を対象に、関数やマクロを使ったより実践的な文書作成を学んだ。
- j いわきの考古学講座（いわき再発見講座）（共催 いわき市考古資料館）  
日 時 11月20日(日)～3月19日(日)13時30分～15時 全5回  
受講者 延べ123人 受講登録34人  
内 容 いわきの縄文時代の遺跡や発掘された土器や土偶から縄文時代の文化と生活について学んだ。

(イ) 地域的課題に関する講座

- a 内藤家時代のいわき（環境・まちづくり講座）  
日 時 11月19日(土)～12月10日(土)14時～16時 全4回

受講者 延べ68人 受講登録20人

内容 -磐城平藩内藤家入封400年記念-農業や政治、文化、社会等様々な環境の側面から内藤家時代の磐城平について学んだ。

(ウ) 施設の機能を生かした講座

a 四季を生ける(華道講座)※令和3年度延期分

日時 4月16日(土)14時~16時 全4回 3年度3回実施

受講者 延べ42人(4年度10人) 受講登録13人

内容 池坊の橋本博子先生を講師に迎え、生け花の基本と草花や器に関する基礎知識を学んだ。

b パソコンはじめの一步(IT入門講座)

日時 5月12日(木)~6月2日(木)18時30分~20時 全4回

受講者 延べ61人 受講登録17人

内容 パソコン初心者対象講座。パソコンの電源の入れ方から電子メール・インターネットの使い方まで、基本操作を学んだ。

c 自分だけの器をつくる(陶芸入門講座)

日時 6月13日(月)~7月18日(月・祝)18時30分~20時30分 全4回

受講者 延べ77人 受講登録20人

内容 陶芸家の秤屋苑子先生を講師に迎え、創作する喜びを深めながら陶芸の基本技術を学び、自分だけの器を作った。

d 七宝でつくるアクセサリー1(ものづくり講座①)

日時 7月16日(土)、同23日(土)10時~12時 全2回

受講者 延べ22人 受講登録12人

内容 古川栄子先生を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダントなどのオリジナルアクセサリーを制作した。

e おとなの粘土遊び(ものづくり講座②)

日時 10月8日(土)、同29日(土)10時~12時 全2回

受講者 延べ35人 受講登録18人

内容 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、土の感触を楽しみながら陶芸の基本を学び、自分だけの器を作り上げた。

f 四季を生ける(華道講座)

日時 6月18日(土)~3月18日(土)14時~16時 全4回

受講者 延べ49人 受講登録16人

内容 小原流の田邊豊京先生を講師に迎え、生け花の基本と草花や器に関する基礎知識を学んだ。

g 茶道への誘い(茶道講座)

日時 9月8日(木)~10月27日(木)18時30分~20時30分 全8回

受講者 延べ50人 受講登録8人

内容 (一社)裏千家淡交会いわき支部の鈴木宗恵先生を講師に迎え、お点前の技術、茶道具の扱い方、所作を学び、おもてなしの心に触れながらお茶を点てることを楽しんだ。

h 英語で話そう(外国語入門講座I)

日時 6月16日(木)~7月21日(木)18時30分~20時30分 全6回

受講者 延べ71人 受講登録18人

内容 いわき市外国語指導助手のファディエラ・ハサン先生を講師に迎え、簡単な英会話のコミュニケーションを体感し、国際理解を深めた。

i 目指せ!ペラペラ(外国語入門講座II)

日時 9月8日(木)~10月13日(木)18時30分~20時30分 全6回

受講者 延べ86人 受講登録19人

内容 いわき市外国語指導助手のジェイムス・ルイス先生を講師に迎え、グループごとにディスカッションを行い、より高度な英会話のコミュニケーションを学んだ。

j 楽しく!美BODY(健康体力づくり講座I)

日時 8月19日(金)~9月16日(金)19時30分~21時30分 全5回

受講者 延べ39人 受講登録10人

内容 吉田美保先生を講師に迎え、ストレッチ・ヨガ・ピラティス等を楽しみながら体験し、美しい姿勢・身体作りを学んだ。

k ジュガで身も心もリフレッシュ(健康体力づくり講座II)

日時 10月8日(土)~11月5日(土)10時~12時 全5回

受講者 延べ53人 受講登録15人

内容 高田樹音先生を講師に迎え、ゆったりとした呼吸法と運動や瞑想を行い、心身ともにリフレッシュした。

- 1 七宝でつくるアクセサリー2（ものづくり講座③）  
 日 時 1月14日(土)、同28日(土)10時～12時 全2回  
 受講者 延べ24人 受講登録12人  
 内 容 古川栄子先生を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダント等のオリジナルアクセサリーを制作した。
- (エ) 人材養成に関する講座
- a めざせ、街の歴史案内人～平編～（地域サポーター養成講座）※令和3年度延期分  
 日 時 4月9日(土)、同16日(土)10時～12時 6回のうち2回実施 3年度1回実施  
 第4～6回は中止  
 受講者 延べ41人（4年度13人） 受講登録20人
- b 目指せ！街の歴史案内人リターンズ（地域サポーター養成講座）  
 日 時 1月7日(土)～3月4日(土)10時～12時 全6回  
 受講者 延べ98人 受講登録20人  
 内 容 磐城平城とその周辺の歴史について学び、実際に平城周辺を歩いた。
- (オ) 親子・異世代間交流に関する講座
- a ロボットプログラミング教室2（プログラミング講座②）※令和3年度延期分  
 日 時 4月9日(土)～同30日(土)10時～12時 全3回  
 受講者 延べ10人 受講登録4人  
 内 容 第1級無線技術士小林克雄先生を講師に迎え、ロボットカーの仕組みとパソコンを用いて簡単なプログラミングを作成し、入力されたロボットカーを実際に動かして楽しんだ。
- b 親子でつくる自分だけの器1 A・B（親子陶芸講座①）  
 日 時 7月9日(土) A 10時～12時、B 14時～16時  
 受講者 A 10組23人 受講登録10組23人、B 9組19人 受講登録10組21人  
 内 容 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、親子で楽しく陶芸を体験し、世界でひとつだけの器を作り上げた。
- c 親子でつくる自分だけの器2 A・B（親子陶芸講座②）  
 日 時 11月5日(土) A 10時～12時、B 14時～16時  
 受講者 A 4組9人 受講登録5組12人、B 8組17人 受講登録8組17人  
 内 容 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、親子で楽しく陶芸を体験し、世界でひとつだけの器を作り上げた。
- d お洒落なインテリアをつくろう！（親子ものづくり講座①）  
 日 時 6月11日(土)10時～12時  
 受講者 5組11人 受講登録5組11人  
 内 容 親子で協力しながら、ハーバリウムのピンとボールペンを作製した。
- e 絵付け体験A・B（親子ものづくり講座②）  
 日 時 8月6日(土) A 10時～12時、B 14時～16時  
 受講者 A 7組17人 受講登録7組18人、B 3組6人 受講登録3組6人  
 内 容 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、親子でお皿や湯呑に好きな絵を描き、オリジナルの器を作り上げた。
- f ロボットプログラミング教室（プログラミング講座①）  
 日 時 7月23日(土)～8月27日(土)10時～12時 全3回  
 受講者 延べ12人 受講登録8人  
 内 容 第1級無線技術士小林克雄先生を講師に迎え、ロボットカーの仕組みとパソコンを用いて簡単なプログラミングを作成し、入力されたロボットカーを実際に動かして楽しんだ。
- g 紙漉き&絵手紙（親子ものづくり講座③）  
 日 時 12月4日(日)、同11日(日)10時～12時 全2回  
 受講者 延べ14組32人 受講登録8組18人  
 内 容 和紙作りを体験し、作製したハガキに思い思いの絵を描いて絵手紙を作った。
- h 楽しいプラモデル講座（プログラミング講座②）  
 日 時 3月5日(日)～同12日(日)10時～12時 全2回  
 受講者 延べ20人 受講登録11人  
 内 容 各々が持参したプラモデルを、講師に助言を受けながら楽しく作製した。
- (カ) ITリーダー企画講座（ボランティア活用事業I）
- a Outlook活用講座（ITリーダー企画講座①）  
 日 時 5月29日(日)10時～12時30分  
 受講者 13人 受講登録20人  
 内 容 メールの受信の仕方から、宛先登録や予定表の入力方法を学んだ。
- b パワーオートメイトデスクトップ活用講座（ITリーダー企画講座②）  
 日 時 6月26日(日)10時～12時30分  
 受講者 15人 受講登録20人

- 内 容 パワーオートメイトによる作業の自動化の仕方について学んだ。
- c Excel操作応用講座（I Tリーダー企画講座③）  
 日 時 7月31日(日)10時～12時30分  
 受講者 14人 受講登録19人  
 内 容 実践的な表の作成や関数を使用した文字列の操作方法を学びながら、請求書を作成した。
- d パソコンでいろいろ作ってみよう！（I Tリーダー企画講座④）  
 日 時 11月20日(日)10時～12時30分  
 受講者 8組19名 受講登録10組23名  
 内 容 ワードを用いて画像を編集し、アイロンプリントでオリジナルのバッグとうちわを作った。
- e PowerPoint操作活用講座（I Tリーダー企画講座⑤）  
 日 時 9月25日(日)10時～12時30分  
 受講者 14人 受講登録20人  
 内 容 プレゼンテーションソフト「パワーポイント」を用いて、文字入力や図形操作、グラフの入力等の基本的な操作を学んだ。
- f スクラッチ体験講座（I Tリーダー企画講座⑥）  
 日 時 10月30日(日)10時～12時30分  
 受講者 14人 受講登録15人  
 内 容 プログラミング言語「Scratch」の基本を学びながら、ピンポンゲームを作った。
- g 筆まめ年賀状作成講座（I Tリーダー企画講座⑦）  
 日 時 11月27日(日)10時～12時30分  
 受講者 13人 受講登録17人  
 内 容 「筆まめ」のソフトを使用し、筆まめの使い方やイラストの挿入方法、宛名作成を学び、年賀状を作成した。
- h ラベル作成講座（I Tリーダー企画講座⑧）  
 日 時 12月18日(日)10時～12時30分  
 受講者 10組24人 受講登録10組24人  
 内 容 好きなイラストや画像を使用してオリジナルのラベルシールを作成した。
- i Word操作応用講座（I Tリーダー企画講座⑨）  
 日 時 1月29日(日)10時～12時30分  
 受講者 17人 受講登録20人  
 内 容 Wordのレイアウト設定や表の編集方法等応用的な使い方を学んだ。
- j Google活用講座（I Tリーダー企画講座⑩）  
 日 時 2月12日(日)10時～12時30分  
 受講者 16人 受講登録19人  
 内 容 Googleアプリを使って、スプレッドシートやフォームの使い方を学んだ。
- k エクセルマクロ講座（I Tリーダー企画講座⑪）  
 日 時 3月26日(日)10時～12時30分  
 受講者 18人 受講登録20人  
 内 容 エクセル作業を自動化するためのマクロの使い方について学んだ。
- (キ) 子育て支援ボランティア活用事業（ボランティア活用事業Ⅱ）
- a プラザおはなし会  
 日 時 6月10日(金)～3月10日(金)11時～11時30分 全12回 4月、5月は中止  
 受講者 10回実施 計54人 保護者24人とこども30人  
 内 容 5階「遊びと憩いの広場」で実施し、紙芝居と絵本の読み聞かせ、パネルシアターや簡単な手遊び・歌を親子で楽しんだ。
- b きんたろうのトントんずもう（子育てボランティア活用講座①）  
 日 時 5月28日(土)10時30分～12時  
 受講者 3組11人 受講登録 4組13人  
 内 容 金太郎とくまにそれぞれ色を塗り、切り取ったものを箱で作った土俵にのせて、トントんさせて遊んだ。
- c かわいいスワン・ボート（子育てボランティア活用講座②）  
 日 時 7月23日(土)10時30分～12時  
 受講者 7組17人 受講登録 9組23人  
 内 容 紙コップや牛乳パックを使って、白鳥や亀のボートを作り、プールに浮かべて遊んだ。
- d わらべうた&タオルあそび（子育てボランティア活用講座③）  
 日 時 9月17日(土)10時30分～12時  
 受講者 2組8人 受講登録 2組7人  
 内 容 色々なわらべうたを歌い、タオルを使いながら踊って遊んだ。

- e クリスマス・クラッカーをつくろう（子育てボランティア活用講座④）  
 日 時 11月26日(土)10時30分～12時  
 受講者 6組15人 受講登録 8組19人  
 内 容 紙コップに各々絵を描き、親子でクリスマスのクラッカーを作った。
- f たのしいむかしあそび（子育てボランティア活用講座⑤）  
 日 時 1月28日(土)10時30分～12時  
 受講者 2組4人 受講登録5組12人  
 内 容 紙袋を使って紙風船を作り、紙風船を使った替え歌で親子で楽しんだ。
- g じゃんけんしんぶんし（子育てボランティア活用講座⑥）  
 日 時 2月25日(土)10時30分～12時  
 受講者 3組6人 受講登録5組12人  
 内 容 新聞紙で兎の帽子と棒を作り、叩いてかぶってじゃんけんぼんをして楽しんだ。
- (ク) サークル企画講座（ボランティア活用事業Ⅲ）
- a 朗読教室1（一般体験講座①）  
 日 時 5月11日(水)～7月27日(水)18時30分～20時 全6回  
 受講者 延べ26人 受講登録6人  
 内 容 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、吉屋信子作「鬼火」、太宰治作「桜桃」を味わい、朗読のコツを身につけた。
- b 楽しい朗読1（一般体験講座②）  
 日 時 5月13日(金)～7月22日(金)13時30分～15時 全6回  
 受講者 延べ62人 受講登録12人  
 内 容 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、吉屋信子作「鬼火」、太宰治作「桜桃」を味わい、朗読のコツを身につけた。
- c 朗読教室2（一般体験講座③）  
 日 時 9月14日(水)～11月24日(水)18時30分～20時 全6回  
 受講者 延べ34人 受講登録7人  
 内 容 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、野上彌生子作「巣箱」、吉野せい作「暴風時代の話」を味わい、朗読のコツを身につけた。
- d 楽しい朗読2（一般体験講座④）  
 日 時 9月16日(金)～11月25日(金)13時30分～15時 全6回  
 受講者 延べ67人 受講登録12人  
 内 容 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、野上彌生子作「巣箱」、吉野せい作「暴風時代の話」を味わい、朗読のコツを身につけた。
- e 朗読教室3（一般体験講座⑤）  
 日 時 1月11日(水)～3月29日(水)18時30分～20時 全6回 1月25日(水)は3月29日(水)に変更  
 受講者 延べ22人 受講登録4人  
 内 容 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、芥川龍之介作「蜘蛛の糸」と「羅生門」を味わい、朗読のコツを身につけた。
- f 楽しい朗読3（一般体験講座⑥）  
 日 時 1月13日(金)～3月24日(金)13時30分～15時 全6回  
 受講者 延べ56人 受講登録12人  
 内 容 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、芥川龍之介作「蜘蛛の糸」と「羅生門」を味わい、朗読のコツを身につけた。
- g Scratchで音楽を作ろう！（一般体験講座⑦）  
 日 時 12月11日(日)13時～16時  
 受講者 6人 受講登録6人  
 内 容 プログラミング言語「Scratch」を使い、画面上のキャラクターを動かしながら音楽を演奏するプログラムを組み、プログラミングについて学んだ。
- h 粘土でかわいい動物をつくろう（一般体験講座⑧）  
 日 時 12月10日(土)～12月24日(土)10時～12時 全2回  
 受講者 延べ10組23人 受講登録9組19人  
 内 容 粘土で好きな動物を作り、親子で楽しみながら作品を作り上げた。
- (ケ) 各種団体共催事業
- a ふだん着のお茶会1  
 日 時 6月11日(土)10時～15時  
 参加者 28人  
 内 容 (一社)茶道裏千家淡交会いわき支部と共催し、日本の伝統文化である茶の湯を体験した。
- b ふだん着のお茶会2  
 日 時 11月12日(土)10時～15時



参加者 42人

内容 (一社) 茶道裏千家淡交会いわき支部と共催し、日本の伝統文化である茶の湯を体験した。

c 第53回諸流いけばな展

期間 1月28日(土)、同29日(日)

入場者 計210人

内容 いわき市華道連合会と共催し、6流派によるいけばな展を開催した。

d IT相談会

日時 6月14日(火)～2月28日(火)14時～16時 全24回 4月、5月、9月、12月27日(火)は中止

受講者 17回実施 計28人

内容 パソコン初心者・高齢者を対象に、インターネットやワード、エクセル等のITに関する相談・質問にボランティアスタッフが対応した。

(ロ) 全市的な事業

全市的な事業として広く市民に浸透している「いわきヒューマンカレッジ(市民大学)」は、「災害支援が学べる学部」「地域経済学部」「SDGs探究学部」「いわき学部」の4学部を開設し、161人の入学者があった。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により各学部とも定員を50人に絞ったが、ほぼ前年通りの受講者数となり、市民の学習ニーズにあった学部を開講できた。また、福島大学との連携・協力による特別講座を2回実施した。童門冬二学長による学長講演は、入学式において「徳川家康のガバナンス『国家経営』とその事例研究」との演題で事前収録映像を上映した。なお、学長講演及び「いわき学部」の一部講座については「i Tube(いわき市公式動画チャンネル)」上での視聴を可能とした。

3年ぶりの開催となった第18回「生涯学習フェスティバル」は、2,196人の入館者があり、プラザ利用団体や関係機関の協力により発表や展示・体験講座等を行い、幅広い年齢層を対象に、多くの市民へ学習の場・交流の場を提供することができた。

「いわきヒューマンカレッジ(市民大学)」や「生涯学習フェスティバル」の運営や講座の実施にあたっては、「いわき市生涯学習支援ボランティアの会」の支援により円滑に運営することができた。

a いわきヒューマンカレッジ(市民大学)

(a) 第52回理事会

日時 5月27日(金)(資料送付による書面開催)

内容 令和4年度いわきヒューマンカレッジ実施内容等について

(b) 入学式・学長講演(会場 いわき市文化センター)

日時 8月20日(土)13時～15時

参加者 136人

内容 入学式及び童門冬二学長講演(学長講演は事前収録を放映)

(c) 災害支援が学べる学部(会場 いわき市生涯学習プラザ)

日時 9月3日(土)～10月15日(土)10時～12時 全7回

受講者 延べ161人 受講登録32人

内容 実際の事例を聴きながら、災害医療や看護支援など災害支援について学んだ。

(d) 地域経済学部(会場 いわき市生涯学習プラザ)

日時 9月3日(土)～11月5日(土)14時～16時 全7回

受講者 延べ193人 受講登録39人

内容 災害や異常気象、パンデミックという地球環境の危機を実感する中で、地域のまちづくりはどうあるべきか考えた。

(e) SDGs探究学部(会場 福島工業高等専門学校)

日時 9月10日(土)～11月12日(土)14時～16時 全7回

受講者 延べ142人 受講登録24人

内容 SDGsのルーツから始め、資源循環、材料、自然エネルギー、まちづくり、防災、高専ロボコンについて探究した。

(f) いわき学部(会場 いわき市生涯学習プラザ)

日時 9月9日(金)～11月18日(金)14時～16時 全7回

受講者 延べ371人 受講登録66人

内容 かつての人々の営みをはじめ、炭鉱と生活、漁業にまつわる民俗、様々な文化財など、いわきの昔、今、未来について考えた。

(g) 修了式(会場 いわき市文化センター)

日時 1月21日(土)13時～14時55分

参加者 87人

内容 修了式及び各学部代表講師・神山常任理事による講演会を実施した。

(h) 第53回理事会

日時 3月14日(火)

- 出席者 14人  
 内容 令和4年度いわきヒューマンカレッジの実施状況について  
 令和4年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会の活動状況について  
 令和5年度いわきヒューマンカレッジ実施計画案のとりまとめについて
- b 福島大学・いわき市連携講座（会場 いわき市生涯学習プラザ）  
 (a) 「発酵乳と健康」 講師 西村 順子氏（福島大学食農学類教授）  
 日時 12月3日(土)14時～16時 受講者 84人  
 (b) 「日本酒と酒粕」 講師 藤井 力氏（福島大学食農学類教授）  
 日時 12月17日(土)14時～16時 受講者 81人
- c 第18回生涯学習フェスティバル  
 日時 2月25日(土)9時30分～16時30分、同26日(日)9時30分～16時  
 参加者 計2,196人  
 内容 プラザを利用する団体や関係機関の協力により、発表・展示・実演・体験講座等を行い、市民との交流を深めた。また、当財団管理施設の出展や、体験事業等を実施することにより、施設間の連携を深める機会となった。
- (サ) 情報収集・提供事業  
 広報に関しては、年間事業案内、講座・イベントごとの詳細な案内チラシを市内公共施設に配布したほか、ホームページやフェイスブックなどのメディアで情報提供を行った。また、利用者懇談会やアンケート調査でモニタリングを重ね、市民目線に立った効率的な管理運営に努めた。
- a ホームページ・講座案内チラシ・広報「いわき」・年間事業案内パンフレット  
 期間 4月1日(金)～3月31日(金)  
 内容 毎月、開講講座をホームページで案内するとともに、関係機関にチラシを配布、広報した。生涯学習情報の収集、提供を図り、事業案内や市民からの問い合わせに積極的に活用した。
- b プラザだより第72号・第73号・第74号  
 期間 9月1日(木)～3月31日(金)  
 内容 各種講座の募集要項や、実施事業の報告などを掲載し、市内公共施設に配布するとともにホームページでも公開した。年3回発行し、情報をわかりやすく提供する手段として活用できた。
- c いわきまなびあいバンク事業  
 期間 4月1日(金)～3月31日(金)  
 内容 市民講師、社会教育関係団体の情報データベースであるいわきまなびあいバンクの情報収集及び維持管理を行い、ホームページ上の情報を更新し、PDF版「いわきまなびあいバンク」を発行した。まなびあいバンクに登録する市民講師の新規募集及び現在登録情報を悉皆調査し、最新情報を提供した。
- d 生涯学習に関する相談  
 期間 4月1日(金)～3月31日(金)  
 件数 講師・サークル紹介について 25件  
 内容 生涯学習に関する相談を電話・窓口・メールなどで受け付け、対応した。
- (シ) その他の自主事業
- a 七夕飾り  
 期間 7月7日(木)～8月8日(月)  
 参加者 54人  
 内容 5階市民ロビーに笹竹を2本設置し、来館者の願いを込めた短冊を市民と協働して飾りつけた。
- b 雑誌リサイクル会  
 日時 7月24日(日)  
 参加者 18人  
 内容 5階情報コーナーに配架した約1年分の雑誌等の、無料リサイクル会を開催した。
- c クリスマスディスプレイ  
 期間 11月25日(金)～12月25日(日)  
 内容 来館者にクリスマスを身近に感じ、楽しむことができるように「遊びと憩いの広場」の一角にクリスマス飾りをつけた。5階市民ロビーにはクリスマスツリーを設置した。
- イ 利用者懇談会
- (ア) 第1回利用者懇談会  
 日時 9月28日(水)14時～15時 出席者 47団体56人  
 議題 令和4年度の利用状況と事業概況について  
 いわき市生涯学習プラザへの要望等について  
 令和5年度サークル企画「一般体験講座」「学校体験講座」について  
 いわき市生涯学習ポータルサイト開設に係る情報掲載について

「第18回生涯学習フェスティバル」の概要について

(イ) 第2回利用者懇談会

日時 1月24日(火) 出席者 52団体62人

議題 令和5年度生涯学習プラザ社会教育関係団体登録について  
令和5年度生涯学習プラザ団体ロッカー・倉庫使用団体登録について  
「いわき市公共施設予約案内システム利用者登録申請」登録について  
いわき市生涯学習プラザへの要望等について  
第18回生涯学習フェスティバルについて

ウ 生涯学習支援ボランティアの会

(ア) 第1回役員会

日時 4月13日(水)13時30分～14時30分 出席役員 13人 2人欠席

議題 令和4年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)、第18回生涯学習フェスティバル等における年間活動計画案についての協議

(イ) 第2回役員会

日時 5月18日(水)13時30分～14時30分 出席役員 12人 2人欠席

議題 いわき学部開講内容(案)について  
いわきヒューマンカレッジ(市民大学)入学式日程について  
いわきヒューマンカレッジ(市民大学)学長講演について  
いわき市生涯学習支援ボランティアの会の皆様への支援依頼について

(ウ) 第3回役員会

日時 7月13日(水)13時30分～14時30分 出席役員 12人 2人欠席

議題 入学式当日のスケジュールについて  
入学式等の役割分担について  
学部運営の役割分担について  
いわきヒューマンカレッジ(市民大学)運営等支援依頼結果について  
いわきヒューマンカレッジ(市民大学)運営等支援実行委員会等について

(エ) 第4回役員会

日時 11月9日(水)13時30分～14時30分 出席役員 10人 4人欠席

議題 いわきヒューマンカレッジ(市民大学)学部運営・支援について(各担当総括)  
いわきヒューマンカレッジ(市民大学)修了式・講演会役割分担について  
第18回 生涯学習フェスティバル(令和5年2月25日・26日)の支援について

(オ) 第5回役員会

日時 2月8日(水)13時30分～14時30分 出席役員 13人 1人欠席

議題 いわきヒューマンカレッジ(市民大学)について  
令和5年度いわき市生涯学習ボランティアの会総会について  
機関誌「Voluntary Association」第19・20合併号について

(カ) 第6回役員会

日時 3月8日(水)13時30分～14時30分 出席役員 14人 0人欠席

議題 いわきヒューマンカレッジ(市民大学)について  
令和5年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会総会について  
機関誌「Voluntary Association」第19・20合併号について

(キ) 総会

日時 3月17日(金)13時30分～14時30分 出席会員 20人 12人欠席

議題 令和4年度活動状況について  
令和4年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)について  
令和4年度収支決算・監査報告について  
令和5年度活動方針について  
令和5年度事業計画・収支予算について  
令和5年度役員改選について

### 3 管 理 部 門 （ 法 人 会 計 ）

#### (1) 組織運営について

円滑な組織運営を図るため、施設長会議や事務担当者会議を定期的に開催し、情報の共有と諸課題の解決を図った。なお、開催にあたっては、コロナ禍の中オンライン会議を多用した。

指定管理期間最終年度のいわき市勿来関文学歴史館においては、新規の指定管理者公募が実施され、当財団が新たに2か年間の指定管理者の指定を受けた。

新型コロナウイルス感染症対策については、感染拡大防止対策を周知、徹底させ、各施設では、引き続き、消毒液や検温器を設置するとともに、利用者票への記入によって、感染拡大防止に努めた。

#### (2) 人材育成について

##### ア 基本研修

ふくしま自治研修センターによる「新規採用職員研修」・「基礎力アップ研修」・「実行力アップ研修」・「再任用職員の働き方講座」の各種研修・講座に8名を派遣した。また、支援事業を利用して、コミュニケーションスキル向上やハラスメント防止及び業務改善の手法などを狙いとした「中堅職員向け研修」を、(一財)いわき市公園緑地観光公社と共催で実施した。さらに、いわき労働基準協会主催の安全関係講習等も活用し、職場の安全向上に努めた。

##### イ 自主研修制度

自主研修は2名が実施した。図書購入補助は、18名が専門書等の購入補助を申請した。

##### ウ 研究紀要の刊行

職員の資質の向上と調査研究の成果を市民に還元することを目的とした『研究紀要』第20号を刊行した。内容は、考古・民俗・文学・歴史の各分野から、節目にふさわしく14編の原稿を収録した。

#### (3) 情報発信・広報等について

当財団ホームページに、財務諸表及び各施設の事業計画や「出前講座」の募集等の各種情報を掲出した。また、Twitterを活用し、各施設で開催する事業の告知、案内を速やかに行なった。

さらに、当財団の令和3年度の事業運営内容を記録、紹介するための「令和3年度年報」を刊行した。

学校の長期休暇期間中の各施設の事業については、共同でチラシを作製して市内の保育園・幼稚園・小学校及び社会教育施設等に配布することで、参加者増に努めた。また、指定管理8施設の事業及び一年間の催し物を掲載した「事業のご案内」リーフレットを引き続き作製し、各施設の利用者へ配布し、周知を図った。

#### (4) 啓発事業について

「たからものずかん」は、いわき市アンモナイトセンターが編集を担当し、いわきの最新の化石研究について解説する第10巻『いわきの化石Ⅲ ー新たな発見ー』を刊行した。

出前講座は、13団体（公民館5館、高等学校1校、中学校1校、小学校4校、学童保育2校）17講座の依頼があり、398人の受講者があった。

また、いわき市生涯学習プラザと共催で、「いわきの文化総合講座」を実施した。いわきの文化について各職員の専門分野（歴史・考古学・民俗・文学・古生物等）を活かし、様々な講座により最新の情報を提供する機会とした。演題と出講職員は次のとおり。

第1回「草野天平をめぐる ～草野杏平氏への聞き書きから～」 講師 渡邊 芳一（事務局）

第2回「古代磐城郡の官衙と周辺の関連遺跡」 講師 猪狩みち子（いわき海浜自然の家）

第3回「いわきの化石哺乳類」 講師 歌川 史哲（アンモナイトセンター）

第4回「縄文のいのり-いわきの出土品からみえる縄文人の知恵-」 講師 木幡 成雄（考古資料館）

第5回「いわきの鐵づくり」 講師 松嶋 直実（暮らしの伝承郷）

第6回「葬送での装いと被り物についてー「被衣（カツギ）」を中心にー」 講師 渡邊 彩（草野心平記念文学館）

第7回「いわき地方の道標」 講師 矢島 敬之（勿来関文学歴史館）

第8回「発掘調査を支える科学技術」 講師 末永 成清（生涯学習プラザ）

第9回「星新一・星一といわき」 講師 長谷川由美（草野心平記念文学館）

### Ⅲ 評議員会・理事会に関する事項

#### 1 評議員会

##### (1) 評議員会の開催

- ア 定時評議員会 6月23日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室  
議案 第1号 令和3年度決算の承認について  
第2号 評議員の選任について  
第3号 理事の選任について  
第4号 監事の選任について
- イ 臨時評議員会（書面決議） 9月14日提出、同日議決  
議案 第1号 理事の選任について

#### 2 理事会

##### (1) 理事会の開催

- ア 第1回理事会 5月23日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室  
議案 第1号 令和3年度決算の承認について  
第2号 令和4年度定時評議員会の招集について  
報告 第1号 令和4年度経過報告（4月）
- イ 第2回理事会（書面決議） 6月23日提出、同日議決  
議案 第1号 副理事長及び常務理事の選定について
- ウ 第3回理事会（書面決議） 9月9日提出、同日議決  
議案 第1号 令和4年度臨時評議員会の招集について
- エ 第4回理事会（書面決議） 9月16日提出、同日議決  
議案 第1号 副理事長の選定について
- オ 第5回理事会 12月23日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室  
議案 第1号 専決処分の承認について  
第2号 給与等に関する規程及び定年退職者の再雇用に関する規程の改正について  
第3号 令和4年度事業変更計画及び収支補正予算（第2号）について  
報告 第1号 令和5年度指定管理施設受託について  
第2号 令和4年度経過報告（5月～11月）
- カ 第6回理事会（書面決議） 2月11日提出、同日議決  
議案 第1号 役員賠償責任保険契約について
- キ 第7回理事会 3月23日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階中会議室  
議案 第1号 給与等に関する規程の改正について  
第2号 令和5年度事業計画及び収支予算について  
報告 第1号 令和4年度経過報告（12月～2月）

#### 3 監査

##### (1) 監事会の開催

- ア 事前監査 5月12日 会場 いわき市考古資料館講義室 内容 令和3年度決算審査の事前監査
- イ 第44回監事会 5月17日 会場 いわき市役所財政部長室 内容 令和3年度決算審査

#### 4 役員等に関する事項

評議員7名、理事8名、監事3名（令和5年3月31日現在）

- 就任 4月1日 理事長 藤城 良教（いわき市副市長）  
評議員 千葉伸一郎（いわき市観光文化スポーツ部長）  
評議員 松島 良一（いわき市教育委員会教育部長）  
6月23日 評議員 菜花 智（いわき市石炭・化石館副館長）  
9月14日 理事 服部 樹理（いわき市教育委員会教育長）  
同16日 副理事長 服部 樹理（いわき市教育委員会教育長）
- 辞任 6月23日 評議員 橋本 一雄（いわき自然史研究会相談役）  
8月31日 副理事長 水野 達雄（前いわき市教育委員会教育長）

#### IV 職員に関する事項

令和5年3月31日現在

##### 1 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

| 区分    | 事務局長<br>同相当職 | 次長<br>同相当職 | 係長<br>同相当職 | 主任職 | 係員 | 嘱託職員 | 補助職員 | 計  |
|-------|--------------|------------|------------|-----|----|------|------|----|
| 事務局   | 1            | 1          | —          | —   | —  | —    | —    | 2  |
| 企画管理係 | —            | 1          | —          | 2   | —  | —    | 1    | 4  |
| 調査係   | —            | —          | 2          | 2   | 3  | 3    | 15   | 25 |
| 計     | 1            | 2          | 2          | 4   | 3  | 3    | 16   | 31 |

##### 2 施設

| 区分             | 館長<br>所長 | 次長<br>同相当職 | 係長<br>同相当職 | 主任職      | 係員       | 嘱託職員 | 補助職員 | 計         |
|----------------|----------|------------|------------|----------|----------|------|------|-----------|
| 文学館            | 1        | 1          | —          | 2        | 1        | —    | 3    | 8         |
| 伝承郷            | 1        | —          | 1          | 1        | 1        | —    | 4    | 8         |
| 勿来関<br>文学歴史館   | 1        | —          | —          | —        | 1        | 1    | 2    | 5         |
| アンモナイト<br>センター | 1        | —          | —          | 1        | —        | 1    | 3    | 6         |
| 考古資料館          | (1)      | —          | (3)        | (2)      | (3)      | —    | 2    | 2<br>(9)  |
| いわき海浜<br>自然の家  | 1        | 1          | 3          | 2        | —        | 3    | 7    | 17        |
| 生涯学習<br>プラザ    | 1        | 1          | 1          | 1        | 1        | —    | 6    | 11        |
| 計              | 6<br>(1) | 3          | 5<br>(3)   | 7<br>(2) | 4<br>(3) | 5    | 27   | 57<br>(9) |

|    |          |   |          |           |          |   |    |           |
|----|----------|---|----------|-----------|----------|---|----|-----------|
| 合計 | 7<br>(1) | 5 | 7<br>(3) | 11<br>(2) | 7<br>(3) | 8 | 43 | 88<br>(9) |
|----|----------|---|----------|-----------|----------|---|----|-----------|

|           |          |   |          |           |          |   |    |           |
|-----------|----------|---|----------|-----------|----------|---|----|-----------|
| 前年度<br>合計 | 7<br>(1) | 6 | 6<br>(1) | 12<br>(3) | 5<br>(1) | 6 | 43 | 85<br>(6) |
|-----------|----------|---|----------|-----------|----------|---|----|-----------|

# 決 算 報 告 書

## 目 次

|                    | ページ |
|--------------------|-----|
| 1 貸借対照表 .....      | 47  |
| 2 正味財産増減計算書 .....  | 48  |
| 3 財務諸表に対する注記 ..... | 51  |
| 4 財産目録 .....       | 53  |



# 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位円)

| 科 目           | 当年度          | 前年度          | 増減          |
|---------------|--------------|--------------|-------------|
| I 資産の部        |              |              |             |
| 1 流動資産        |              |              |             |
| 現金預金          | 248,232,190  | 249,574,021  | △1,341,831  |
| 未収金           | 16,400,121   | 9,720,520    | 6,679,601   |
| 前払金           | 0            | 210,280      | △210,280    |
| 立替金           | 0            | 0            | 0           |
| 仮払金           | 14,880       | 0            | 14,880      |
| 未経過通信運搬費      | 54,046       | 1,806        | 52,240      |
| 未経過租税公課       | 5,400        | 1,600        | 3,800       |
| 流動資産合計        | 264,706,637  | 259,508,227  | 5,198,410   |
| 2 固定資産        |              |              |             |
| (1) 基本財産      |              |              |             |
| 定期預金          | 10,000,000   | 10,000,000   | 0           |
| 基本財産合計        | 10,000,000   | 10,000,000   | 0           |
| (2) その他固定資産   |              |              |             |
| 器具・備品         | 13           | 13           | 0           |
| リース資産         | 22,374,000   | 33,561,000   | △11,187,000 |
| 電話加入権         | 9,000        | 9,000        | 0           |
| その他固定資産合計     | 22,383,013   | 33,570,013   | △11,187,000 |
| 固定資産合計        | 32,383,013   | 43,570,013   | △11,187,000 |
| 資産合計          | 297,089,650  | 303,078,240  | △5,988,590  |
| II 負債の部       |              |              |             |
| 1 流動負債        |              |              |             |
| 未払金           | 68,476,781   | 69,313,884   | △837,103    |
| 未払消費税         | 11,179,200   | 13,613,200   | △2,434,000  |
| 前受金           | 0            | 7,750        | △7,750      |
| 預り金           | 2,805,963    | 1,232,786    | 1,573,177   |
| 仮受金           |              |              |             |
| 賞与引当金         | 13,073,441   | 13,126,993   | △53,552     |
| 短期リース債務       | 11,475,715   | 11,179,347   | 296,368     |
| 流動負債合計        | 107,011,100  | 108,473,960  | △1,462,860  |
| 2 固定負債        |              |              |             |
| 長期リース債務       | 11,779,905   | 23,255,620   | △11,475,715 |
| 固定負債合計        | 11,779,905   | 23,255,620   | △11,475,715 |
| 負債合計          | 118,791,005  | 131,729,580  | △12,938,575 |
| III 正味財産の部    |              |              |             |
| 1 指定正味財産      |              |              |             |
| 受取出捐金         | 10,000,000   | 10,000,000   | 0           |
| 指定正味財産合計      | 10,000,000   | 10,000,000   | 0           |
| (うち基本財産への充当額) | (10,000,000) | (10,000,000) | 0           |
| 2 一般正味財産      |              |              |             |
| 一般正味財産合計      | 168,298,645  | 161,348,660  | 6,949,985   |
| 正味財産合計        | 178,298,645  | 171,348,660  | 6,949,985   |
| 負債及び正味財産合計    | 297,089,650  | 303,078,240  | △5,988,590  |

# 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位円)

| 科 目                    | 当年度                | 前年度                | 増減                |
|------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| <b>I 一般正味財産増減の部</b>    |                    |                    |                   |
| <b>1. 経常増減の部</b>       |                    |                    |                   |
| <b>(1) 経常収益</b>        |                    |                    |                   |
| ① 基本財産運用益 (A)          | 200                | 200                | 0                 |
| 基本財産受取利息               | 200                | 200                | 0                 |
| ② 事業収益 (B)             | 707,902,861        | 626,447,500        | 81,455,361        |
| 文化財調査受託料               | 226,794,700        | 155,347,500        | 71,447,200        |
| 施設指定管理料                | 471,314,186        | 463,719,000        | 7,595,186         |
| 1 市立草野心平記念文学館          | 78,148,720         | 76,393,000         | 1,755,720         |
| 2 市草野心平生家              | 3,254,000          | 3,254,000          | 0                 |
| 3 市暮らしの伝承郷             | 52,109,662         | 51,235,000         | 874,662           |
| 4 市勿来関文学歴史館            | 36,239,112         | 35,798,000         | 441,112           |
| 5 市アンモナイトセンター          | 26,950,169         | 26,407,000         | 543,169           |
| 6 市考古資料館               | 18,076,523         | 17,446,000         | 630,523           |
| 7 県いわき海浜自然の家(県)        | 158,571,000        | 156,283,000        | 2,288,000         |
| 8 市生涯学習プラザ             | 97,965,000         | 96,903,000         | 1,062,000         |
| 9 市勿来勤労青少年ホーム          | 0                  | 0                  | 0                 |
| 施設事業受託料                | 8,210,175          | 6,643,420          | 1,566,755         |
| 1 いわきヒューマンカレッジ         | 3,894,000          | 3,500,000          | 394,000           |
| 2 未来キッズ生き生き事業          | 3,559,970          | 2,491,618          | 1,068,352         |
| 3 勿来関公園体験学習施設管理事業      | 428,405            | 327,800            | 100,605           |
| 4 心のケアが必要な子ども対象事業      | 327,800            | 324,002            | 3,798             |
| 5 プラザアンケート調査事業         | 0                  | 0                  | 0                 |
| 施設利用料                  | 1,574,900          | 726,980            | 847,920           |
| 出版物頒布料                 | 8,900              | 10,600             | △1,700            |
| ③ 受取負担金 (C)            | 0                  | 0                  | 0                 |
| 講師派遣料                  | 0                  | 0                  | 0                 |
| ④ 受取寄附金 (D)            | 0                  | 0                  | 0                 |
| 寄附金                    | 0                  | 0                  | 0                 |
| ⑤ 雑収益 (E)              | 655,903            | 488,311            | 167,592           |
| 受取利息                   | 1,099              | 3,199              | △2,100            |
| 雑収益                    | 654,804            | 485,112            | 169,692           |
| <b>経常収益計 (A~E)=(F)</b> | <b>708,558,964</b> | <b>626,936,011</b> | <b>81,622,953</b> |
| <b>(2) 経常費用</b>        |                    |                    |                   |
| ① 事業費 (G)              | 664,927,890        | 563,540,050        | 101,387,840       |
| 給料手当                   | 125,506,422        | 109,941,156        | 15,565,266        |

(単位円)

| 科 目          | 当年度               | 前年度               | 増減                |
|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 賃金           | 162,193,570       | 141,084,625       | 21,108,945        |
| 賞与引当金繰入額     | 11,237,537        | 10,864,553        | 372,984           |
| 共済費          | 46,629,185        | 41,263,149        | 5,366,036         |
| 報償費          | 5,737,071         | 4,455,454         | 1,281,617         |
| 旅費           | 2,405,174         | 4,706,780         | △2,301,606        |
| 消耗品費         | 13,479,049        | 13,421,206        | 57,843            |
| 被服費          | 472,183           | 575,547           | △103,364          |
| 燃料費          | 6,603,755         | 5,840,259         | 763,496           |
| 食糧費          | 331,107           | 181,198           | 149,909           |
| 印刷製本費        | 12,058,771        | 14,659,723        | △2,600,952        |
| 光熱水費         | 36,300,881        | 24,835,353        | 11,465,528        |
| 修繕費          | 11,592,931        | 9,886,059         | 1,706,872         |
| 医薬材料費        | 0                 | 0                 | 0                 |
| 通信運搬費        | 5,962,367         | 6,282,384         | △320,017          |
| 広告料          | 609,709           | 768,659           | △158,950          |
| 手数料          | 966,277           | 1,568,445         | △602,168          |
| 保険料          | 1,268,171         | 820,402           | 447,769           |
| 委託料          | 137,703,141       | 93,125,935        | 44,577,206        |
| 使用料及び賃借料     | 35,156,004        | 29,536,541        | 5,619,463         |
| 工事請負費        | 176,000           | 855,580           | △679,580          |
| 原材料費         | 209,780           | 300,551           | △90,771           |
| 負担金          | 296,523           | 267,710           | 28,813            |
| 公租公課         | 34,796,733        | 32,505,117        | 2,291,616         |
| 消耗什器備品費      | 1,280,180         | 3,549,590         | △2,269,410        |
| 減価償却費        | 11,187,000        | 11,187,000        | 0                 |
| 支払利息         | 768,369           | 1,057,074         | △288,705          |
| <b>② 管理費</b> | <b>36,681,089</b> | <b>44,953,495</b> | <b>△8,272,406</b> |
| 報酬           | 249,000           | 265,600           | △16,600           |
| 給料手当         | 14,876,043        | 21,242,413        | △6,366,370        |
| 賃金           | 4,143,142         | 4,032,170         | 110,972           |
| 賞与引当金繰入額     | 1,835,904         | 2,262,440         | △426,536          |
| 共済費          | 4,576,475         | 6,047,235         | △1,470,760        |
| 報償費          | 190,800           | 138,000           | 52,800            |
| 旅費           | 125,513           | 66,312            | 59,201            |
| 交際費          | 15,000            | 75,000            | △60,000           |
| 消耗品費         | 502,845           | 751,681           | △248,836          |
| 被服費          | 15,400            | 14,000            | 1,400             |
| 燃料費          | 40,051            | 33,481            | 6,570             |

(単位円)

| 科 目                            | 当年度                | 前年度                | 増減                 |
|--------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 食糧費                            | 43,089             | 19,652             | 23,437             |
| 印刷製本費                          | 2,864,180          | 1,531,420          | 1,332,760          |
| 光熱水費                           | 94,746             | 124,397            | △29,651            |
| 修繕費                            | 0                  | 0                  | 0                  |
| 通信運搬費                          | 292,371            | 314,929            | △22,558            |
| 広告料                            | 0                  | 0                  | 0                  |
| 手数料                            | 424,435            | 480,803            | △56,368            |
| 保険料                            | 196,370            | 234,430            | △38,060            |
| 委託料                            | 418,098            | 1,026,304          | △608,206           |
| 使用料及び賃借料                       | 1,267,834          | 1,039,273          | 228,561            |
| 原材料費                           | 0                  | 0                  | 0                  |
| 負担金                            | 602,283            | 794,432            | △192,149           |
| 補償費                            | 6,153              | 235,650            | △229,497           |
| 公租公課                           | 3,901,357          | 3,964,933          | △63,576            |
| 消耗什器備品費                        | 0                  | 258,940            | △258,940           |
| <b>経常費用計 (G+H) = (I)</b>       | <b>701,608,979</b> | <b>608,493,545</b> | <b>93,115,434</b>  |
| <b>当期経常増減額 (F-I) = (J)</b>     | <b>6,949,985</b>   | <b>18,442,466</b>  | <b>△11,492,481</b> |
| <b>2. 経常外増減の部</b>              |                    |                    |                    |
| (1) 経常外収益                      |                    |                    |                    |
| 経常外収益計 (K)                     | 0                  | 0                  | 0                  |
| (2) 経常外費用                      |                    |                    |                    |
| ① 過年度損益修正損                     |                    |                    |                    |
| リース料修正損                        | 0                  | 0                  | 0                  |
| 電話加入権減損損失                      | 0                  | 0                  | 0                  |
| 経常外費用計 (L)                     | 0                  | 0                  | 0                  |
| <b>当期経常外増減額 (K-L) = (M)</b>    | <b>0</b>           | <b>0</b>           | <b>0</b>           |
| <b>当期一般正味財産増減額 (J+M) = (N)</b> | <b>6,949,985</b>   | <b>18,442,466</b>  | <b>△11,492,481</b> |
| 一般正味財産期首残高 (O)                 | 161,348,660        | 142,906,194        | 18,442,466         |
| 一般正味財産期末残高 (N+O) = (P)         | 168,298,645        | 161,348,660        | 6,949,985          |
| <b>II 指定正味財産増減の部</b>           |                    |                    |                    |
| 基本財産運用益                        | 200                | 200                | 0                  |
| 一般正味財産への振替額                    | △200               | △200               | 0                  |
| <b>当期指定正味財産増減額 (Q)</b>         | <b>0</b>           | <b>0</b>           | <b>0</b>           |
| 指定正味財産期首残高 (R)                 | 10,000,000         | 10,000,000         | 0                  |
| <b>指定正味財産期末残高 (Q+R) = (S)</b>  | <b>10,000,000</b>  | <b>10,000,000</b>  | <b>0</b>           |
| <b>III 正味財産期末残高 (P+S)</b>      | <b>178,298,645</b> | <b>171,348,660</b> | <b>6,949,985</b>   |

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

平成26年度より公益法人会計基準（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却方法

器具・備品 定率法

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

期末在職者の退職金支給に備えるため、中小企業退職共済制度に加入しており、同制度による給付額と退職金要支給額が同額であるため、退職給付引当金は計上していない。

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引（所有権移転外ファイナンスリース）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、重要性の乏しいリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

| 科 目  | 前期末残高       | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高       |
|------|-------------|-------|-------|-------------|
| 基本財産 |             |       |       |             |
| 定期預金 | 10,000,000円 | 0円    | 0円    | 10,000,000円 |
| 合 計  | 10,000,000円 | 0円    | 0円    | 10,000,000円 |

### 3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

| 科 目  | 当期末残高       | (うち指定正味財産<br>からの充当額) | (うち一般正味財産<br>からの充当額) | (うち負債に<br>対応する額) |
|------|-------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 基本財産 |             |                      |                      |                  |
| 定期預金 | 10,000,000円 | (10,000,000円)        | (0円)                 | —                |
| 合 計  | 10,000,000円 | (10,000,000円)        | (0円)                 | —                |

### 4 固定資産の取得価額、減価償却及び償却額累計額及び当期末残高及び減損損失

固定資産の取得価額、減価償却及び減損損失累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

| 科 目   | 取得価額        | 減価償却及び<br>減損損失累計額 | 減価償却        | 当期末残高       |
|-------|-------------|-------------------|-------------|-------------|
| 器具・備品 | 7,541,762円  | 7,541,749円        | 0円          | 13円         |
| リース資産 | 55,935,000円 | 22,374,000円       | 11,187,000円 | 22,374,000円 |
| 電話加入権 | 449,904円    | 440,904円          | 0円          | 9,000円      |
| 合 計   | 63,926,666円 | 30,356,653円       | 11,187,000円 | 22,383,013円 |

### 5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

| 科 目 | 債権金額        | 貸倒引当金の<br>当期末残高 | 債権の当期末残高    |
|-----|-------------|-----------------|-------------|
| 未収金 | 16,400,121円 | 0円              | 16,400,121円 |
| 合 計 | 16,400,121円 | 0円              | 16,400,121円 |

### 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

| 内 容              | 金 額  |
|------------------|------|
| 経常収益への振替額        |      |
| 基本財産運用益 基本財産受取利息 | 200円 |
| 合 計              | 200円 |

# 財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

| 貸借対照表科目        | 場所・物量等          | 使用目的等           | 金 額                |
|----------------|-----------------|-----------------|--------------------|
| <b>(流動資産)</b>  |                 |                 |                    |
| 現金             | 事務局、施設7か所       | 手許保管            | 246,000            |
| 郵便振替           | ゆうちょ銀行          | 運転資金            | 165,596            |
| 預金             | 普通預金            |                 |                    |
|                | 東邦銀行湯本支店        | 運転資金            | 202,019,783        |
|                | 東邦銀行湯本支店        | 運転資金            | 5,500              |
|                | 東邦銀行湯本支店        | 運転資金            | 0                  |
|                | いわき信用組合湯本支店     | 運転資金            | 3,732,267          |
|                | いわき信用組合湯本支店     | 運転資金            | 1,877,126          |
|                | 大東銀行湯本支店        | 運転資金            | 87,657             |
|                | 福島銀行湯本支店        | 運転資金            | 98,261             |
|                | 大和初社銀行お伊支店      | 運転資金            | 0                  |
|                | 定期預金            |                 |                    |
|                | いわき信用組合湯本支店     | 運転準備資金          | 10,000,000         |
|                | 大東銀行湯本支店        | 運転準備資金          | 10,000,000         |
|                | 福島銀行湯本支店        | 運転準備資金          | 10,000,000         |
|                | 大和初社銀行お伊支店      | 運転準備資金          | 10,000,000         |
| 未収金            | いわき市、福島県等       | 文化財調査受託料未収等     | 16,400,121         |
| 前払金            | 福島労働局           | 労働保険料概算払い       | 0                  |
| 仮払金            | 職員              | 5年度出張旅費前渡       | 14,880             |
| 未経過通信運搬費       | 切手              | 在庫              | 54,046             |
| 未経過租税公課        | 印紙              | 在庫              | 5,400              |
| <b>流動資産合計</b>  |                 |                 | <b>264,706,637</b> |
| <b>(固定資産)</b>  |                 |                 |                    |
| <b>基本財産</b>    |                 |                 |                    |
| 定期預金           | 東邦銀行湯本支店        | 市出捐金            | 10,000,000         |
| <b>その他固定資産</b> |                 |                 |                    |
| 器具・備品          | カメラ等            | 公1事業目的保有財産      | 13                 |
| リース資産          | パソコンインフォメーション機器 | 公2事業目的保有財産      | 22,374,000         |
| 電話加入権          |                 | 公1・法人会計事業目的保有財産 | 9,000              |
| <b>固定資産合計</b>  |                 |                 | <b>32,383,013</b>  |
| <b>資産合計</b>    |                 |                 | <b>297,089,650</b> |
| <b>(流動負債)</b>  |                 |                 |                    |
| 未払金            | 人件費             | 補助職員3月分賃金等      | 11,070,015         |
|                | 物件費             | 業者に対する未払額       | 57,406,766         |
| 未払消費税          | いわき税務署          | 4年度消費税          | 11,179,200         |
| 預り金            | 所得税、市県民税、社会保険料等 |                 | 2,805,963          |
| 賞与引当金          | 職員              |                 | 13,073,441         |
| 短期リース債務        |                 |                 | 11,475,715         |
| <b>流動負債合計</b>  |                 |                 | <b>107,011,100</b> |
| <b>(固定負債)</b>  |                 |                 |                    |
| 長期リース債務        |                 |                 | 11,779,905         |
| <b>固定負債合計</b>  |                 |                 | <b>11,779,905</b>  |
| <b>負債合計</b>    |                 |                 | <b>118,791,005</b> |
| <b>正味財産</b>    |                 |                 | <b>178,298,645</b> |